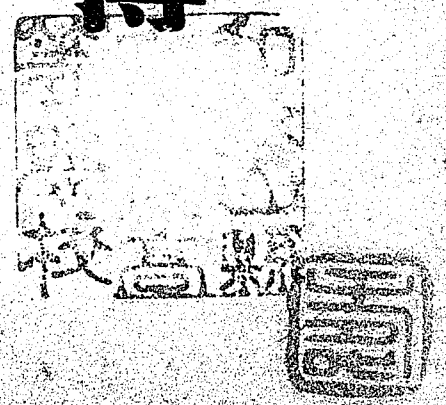


291
162

郷土研究家名簿

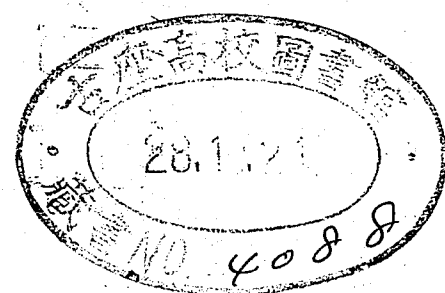
昭和五年一月

昭和五年一月三日 塚手



20
16

29/
162
1



はしがき

最初に御断りをして置きたいのは、此名簿が近いうちに増補訂正せらるべきものだといふことである。我々は出来るだけ完全な全國郷土研究家名簿を作つて見たい爲に、寧ろ幾分か早めに今回の企てを實行したのであつた。

前年京都の黒正教授等の苦心に成つた郷土史研究者名簿は、我々の計畫の大なる刺戟であり、又調査の基礎であつた。是に直接交通ある二百内外の氏名を追加したものが本編である。勿論まだ甚しく一方に偏して居り、地方の遠慮深い多數の篤學者を見落して居ることであらうと思ふ。大回には極力其遺憾を償はなければならぬが、此點に關しては特に本書の配本を受けらるゝ諸君の、注意の分擔を煩はすべき必要がある。各人の研究事項、著作物の題目と性質、及びそれをする方法の如きは、到底その周囲の知友同志の力に依らなければ、之を確める途が無いからである。従つて若干の誤謬も亦、第二の報導を誘致する手段といふことが出来るわけである。

本書の編者等が誰よりも前にびつくりして居るのは、全國郷土研究者のこの意外なる多數と、それが大半は孤立割據の狀態に在つて、不必要なる寂寞と不便と、勞苦の重複とを忍んで居る事實である。此人々が若し互ひに聲息支援し、又調査の交換を爲すことを許されるとしたら、それが大なる時と費との節約に歸すべきは疑ひも無いことである。全國の郷土研究者をして相知り相

中根七郎氏寄贈

目

次

北海	道	五	奈	良	六	山口	六
東京	府	八	滋	賀	元	和歌山	六
京都	府	九	岐	卓	四	德島	七
大阪	府	一	野	縣	四	香川	七
神奈川	縣	三	城	縣	四	愛媛	七
兵庫	縣	五	島	縣	四	高知	七
長崎	縣	七	手	縣	四	福岡	八
新潟	縣	九	森	縣	四	大分	八
埼玉	縣	二	形	縣	五	佐賀	八
群馬	縣	三	田	縣	五	熊本	八
千葉	縣	六	井	縣	五	鹿兒島	八
茨城	縣	九	川	縣	五	宮崎	八
栃木	縣	三	山	縣	五	沖繩	九
山梨	縣	三	根	縣	五	臺灣	九
静岡	縣	三	取	縣	五	樺太	九
愛知	縣	三	島	縣	五	朝鮮	九
三重	縣	六	廣	縣	六	一般之部	九

二
助けらるゝこと、さうして是に由つて少しでも早く、何等かの統一に向つて歩を進めること、是が我々の隠す能はざる下心である。
そこで最も痛切に希望する一事は、諸君の協力を以て此事業の本當の價値を出来るだけ平易に立證することである。人がこの名簿に名を録せられたことによつて、迷惑をすることが最も少く便宜を味ふ場合の常に多からんことである。即ち相互ひに與ふることを先にし、報いらるゝを後にして貰ひたいことである。學者は通例利己主義のもので、學問の爲には人を利用することを當然のやうにも考へてゐるが、是とても僅かばかりの順序の先後によつて、必ずしも望み難いことでは無い。故に知己を遠方に得ようとする人は、兎に角に先づ彼等の爲に働くことを心がける様にし、唯書籍商其他の宣傳を主とする者に、この名簿を利用させぬ様に、努力せられんことを希望する次第である。
第一版の印刷費等は編者等が之を負擔した。併し幸に應分の代金を送らるゝ人があるならば、之は寄附として欣び受け、次の増補版の費用に充てるつもりである。

昭和五年一月

編者識

凡 例

- 一、本編排列の順序は全各市町村名簿の順による。
- 二、本編所載の人物は「はしがき」にある通り、黒正教授作製の名簿所載の人々の中、往復葉書の回答のあつた人、及び編者の交友の中から適宜に加へた人々である。
- 三、記載の内容は、多くは回答の原文の儘であるが、記載を簡単にする爲に適宜に簡約或は省略した點もあるが、諸氏の研究の方向や特色だけは明かに表現することに力めた。
- 四、約一ヶ年後の改訂の爲に、本編の體裁、記載方法、其他について御教示を賜はらば幸である。尙、本編中の訂正すべき部分、追加すべき人及び研究等について御報道下されば、其の都度本編に加筆して次の訂正版の爲に備へたいと思ふ。
- 五、記載を簡単にする爲にとつた方法は左の通りである。
 - イ、無職は記入せず。
 - ロ、著書により研究内容の推察出来るものは著書名のみを掲出。
 - ハ、既刊の著書は△印。稿本又は近刊乃至目下執筆中のものは○印。
 - ニ、各府縣史蹟名勝天然記念物調査委員は縣(府)調。文部省史蹟名勝天然記念物保存委員は文保。

北 海 道

- 高倉 新一郎 札幌市北海道帝大圖書館
一、教授 二、郷土研究
- 柴田 定吉 同
一、同 二、同
- ジョン バチラー 同市北三條西七丁目一
一、神學博士、牧師 二、アイヌ族研究及教化 △蝦和英三對辭書アイヌの話、其他
- 河野 常吉 同市北四條西七丁目三
二、史學、考古學、地學、教育學、△函館區史、北海道舊土人、チヤシ即蝦夷の碧、非コロボツクル論
北海道史、北海道拓殖の進歩、道治一斑等、三、札幌博物館、北海道地學會、大雪山調査會、札幌市教育會、東京人類學會等
- 深瀬 春一 函館師範學校教諭
二、郷土研究、蝦夷と和人の傳説 三、函館史談會
- 千葉 稻城 同市鶴岡町函館毎日新聞社
一、郷土研究 二、郷土研究、北海史談等 三、函館史談會
- 岡田 健藏 同市公園圖書館内
一、圖書館主事 二、郷土研究 △函館史蹟名勝 三、函館史談會

小笠原 辰次 小樽市稻穂町四ノ一
 一、醫師 二、石器時代及郷土研究 三、小樽史談會
 宮腰 伊七郎 同市稻穂町西二ノ七
 一、市會議員 二、石器時代及郷土研究 三、小樽史談會
 西田 彰 三 同市緑町二ノ三〇
 一、小樽高商教授 二、石器時代及郷土研究 三、小樽史談會
 清水 實隆 同市新富町畑二
 一、同市緑丘高女、札幌藤高女教員 二、小樽附近の地形及地質 三、小樽史談會、北海道地學會
 五十嵐 鐵 同市入舟町五ノ一六
 一、小樽市役所教育主任 二、△小樽市郷土誌、小樽市地勢圖 三、小樽及北海道史談會、小樽市地理教科主任會
 橋本 堯 尚 同市緑町二ノ二七
 一、著述業 二、△蝦夷の詩叢、北海道年譜、北海道の郷土研究等 三、小樽史談會本部、文保
 工藤 梅太郎 同市花園町東二丁目一
 一、小樽新聞記者 二、△アイヌ民話
 齋藤 讓 三 旭川市二條通三丁目
 一、雜業 二、郷土研究 三、旭川史談會
 新岡 武彦 忍路郡鹽谷村
 一、北海道帝國大學生 二、郷土研究 三、忍路郡考古學研究會

六

五十嵐 盛一 石狩國上川郡近文鷹栖神社宅
 一、社司 二、郷土研究 三、旭川史談會
 和泉 盛(無人関) 十勝國帶廣町
 主として明治以前の北海道に關する記録の蒐集研究(七百餘種、二千餘冊) △蝦夷の燈
 吉田 巖 同國同町
 一、日新小學校長(アイヌ學校) 二、約二十年間アイヌ民俗研究 △平取地方史資料
 遠間 榮治 北見國紋別郡遠輕町
 一、町役場員 二、郷土研究 三、北見郷土研究會
 米村 喜男 衛 同國網走町南四ノ東一
 一、寫眞業 二、郷土研究 三、北見郷土研究會
 滿岡 伸一 膽振國白老村
 一、白老郵便局長 二、白老を中心とするアイヌ研究 △アイヌの足跡 三、元土人保護會長
 奈良 農夫 日高國沙流郡
 一、アイヌ小學校長(約二十年) 二、△長知内地方史資料、長知内地質
 藤村 幹治 同國同郡平取村
 アイヌの聖地としての平取及び附近八ヶ村の郷土誌編纂、第二冊まで刊行
 小樽史談會 小樽市緑町二丁目橋本方

七

東京府

- 藤本喜久磨 芝區三田綱町十 澁澤邸内
一、畫家 二、伊豆七島研究
清水庫之祐 八王子市八日町一〇
△八王子郷土史その他
小林幸次郎 同市上野町一八
武藏名勝圖會復刻その他
村上清文 同市小門町一〇五
一、早大國文科學生 二、三多摩郡郷土調査
鹽積徳 荏原郡大井町篠谷五九三〇
一、日本勸業銀行 二、童詞、民謡等の蒐集
松川弘太郎 豊多摩郡落合町上落合二九五
一、東京高等齒科醫學校(神田區錦町) 二、風土民俗、江戸の事 三、江戸文藝同好會
高橋文太郎 北多摩郡保谷村下保谷二六五
一、鐵道會社 二、武藏野研究
菊池山哉 同郡多摩村小田分三三五
國民史研究その他

壬生祐麿

三宅島神社

一、三島神社々司

- 一、高史談會 本郷區第一高等學校内
舊世田ヶ谷領郷土會 市外世田ヶ谷町役場内

京都府

- 水野清一 京都市上京區岡崎東天王町二三柘次一方
小酒井儀三 同市中京區聚樂廻中町四四
一、市立堀川高女 二、日本史蹟、京都の皇宮の沿革 △日本史蹟寫真集、北桑田郡誌、松尾神社誌、
○京都名勝誌等 三、史學地理學同好會、京都市歴史教育研究會、文化史研究會等
近藤九市郎 同市左京區北白川別當町一一
二、丹波水上郡志 三、丹波史談會
中村直勝 同市左京區下鴨松原町
一、第三高等學校教授、京都帝大助教、二、古文書集、南朝、莊園内の生活、皇室御領、社寺と地方文
明開發 △日本文化史「南北朝」南朝の研究 三、史學研究會、史學地理學同好會
小牧實繁 京都帝大文學部地理學研究室
一、京都帝大文學部講師 二、農村の人文地理的研究 三、史學研究會 史學地理學同好會、地球學園

本 庄 榮 治 郎 同市上京區吉田中道路町

一、京都帝大經濟學部教授 二、日本經濟史 △ 日本經濟史概説、日本社會經濟史、日本經濟文獻其他
三、經濟史研究會

橋 川 正 同市東六條

一、僧侶、大谷大學教授、常葉幼稚園々長 二、佛教史、眞宗史、日本佛教年表、日本佛教と社會事業、
四、目下洋行中

那 波 利 貞 同市中門前町四六

一、京都帝國大學文學部助教授 二、東洋史專攻なるも故郷徳島のことにつき二三發表 △ 燕吳載筆
三、京大文學部内史學研究會、史學地理學同友會同人

垣 田 五 百 次 同市立堀川高等女學校

△丹波口碑集

藤 田 元 春 同市葭屋町通下立賣上ル

一、第三高等學校教授 二、△ 日本民家史、尺度綜考卷上、西湖より包頭まで、北桑田郡誌、○京都史
蹟第二號、京都古地圖研究、田家と山莊 三、地球學園、史學地理學同友會、民俗談話會、史林

山 本 文 顯 京都府加佐郡新舞鶴町

一、藥劑師 二、考古學、郷土史 三、多福寺保存會、府史蹟調査會

永 濱 宇 平 中郡三重村字三重(天橋立の西二里)

一、農業、二、郷土の歴史地理研究 △ 三重郷土志、丹後宮津志、養老村誌、與謝郡誌、石川村誌、丹
後史料叢書、加悦町誌、志津村誌、丹後地震誌 三、山陰史蹟協會

毛 呂 清 春 同郡峰山町

佐 治 正 章 熊野久美濱町一、三、四
一、郷社神谷神社々司 二、△ 熊野郡誌、氏子のつとめ、國の光

大 阪 府

今 井 貫 一 大阪府立圖書館長

三 宅 吉 之 助 大阪市西區鞍上通一ノ三六

一、無職 二、郷土趣味(殊に大阪)、土俗趣味、遊廓花街、郷土音楽俚諺民謡其他に亘る史的研究
三、いもづる會、大阪史談會、浪速叢書刊行會、郷土趣味大阪人社等、宇津保文庫主

蒲 田 利 郎 同市西區南堀江上通二ノ四三(電機川二四六一)

一、筆筒商 二、大阪先賢遺墨並に事蹟研究、△ 南北堀江誌 三、大阪史談會、雜誌「大阪人」硯友、
三木會

江 崎 政 忠 同市北區新川崎町一、御料地五號

一、川崎電球社長、帝國森林會、大日本山林會、府保 二、山林並に林產物等が一般文化に及ぼす關係、
特に過去の實蹟につきて 三、大阪史談會、島の内會等

南 木 芳 太 郎 同市西區南吉田町八八(通稱天下茶屋)

二、大阪郷土に關する地誌、風俗演藝の研究考查 三、浪速叢書刊行會

木 谷 蓬 吟 同市西區南吉田町九五

- 二、淨瑠璃、歌舞伎、近松門左衛門研究、○大近松全集十六卷等 三、近松名作講演演習會、雜誌「大阪人」主宰
- 木村 敬二 郎 同市天王寺區眞法院町八八(四天王寺塔畔)
- 二、△大阪訪碑錄(浪速叢書所收) ○大阪傳記資料 三、大阪史談會、大阪考古會
- 佐古 慶三 同市天王寺區上本町六ノ一〇
- 一、京大文學部 二、近世大阪の商業的、經濟的、都市的考察 △佐賀藩藏屋敷拂米制度、大阪商業史要、近世大阪人口統計の研考、大阪町割制に關する一考察、大阪古町圖說、難波俗類書考等二十五六種 三、大阪史學會
- 猪原 薰一 同市住吉區柴谷町四四藤永田造船所
- 一、同所社員 二、備後國郷土史 三、備後郷土史會
- 橋本 耕之介 同市住吉區相生通三丁目(天下茶屋附近)
- 一、大阪市立圖書館長(清水谷公園内) 二、大阪郷土史 三、大阪史談會、浪速叢書刊行會、大阪教育史編纂委員會等
- 牧野 信之助 堺市向陽町七三
- 一、堺市史編纂長 二、日本社會史特に中世の村落制と農民の研究 △福井縣史四冊、滋賀縣史六冊、武家時代社會之研究 三、史學會、史學研究會、歴史と地理同政會、農業經濟研究會
- 石割 松太郎 同市東三丁目(蘇鐵の妙岡寺畔)
- 一、目下病氣引籠中 二、人形淨瑠璃、徳川時代の大坂 四、個人雜誌「演藝月刊」を發刊
- 北里 關 岡町櫻塚

△日本民族の起原と語原

- 笹谷 良造 郡山中學校
- 大阪の出身
- 神田 能之 豊能郡池田町本町
- 稻束 芝馬太郎 同郡同町
- 一、古書畫の修藏 二、△并漢集
- 吉田 銳雄 同町字保二六九
- 一、懷德堂助教授、梅花女子專門學校教授 二、豊能郡の先賢 △田中桐江傳、池田人物誌 三、池田史談會
- 大阪史談會 大阪市天王寺公園内大阪市民博物館内
- 池田史談會 豊能郡池田町

神奈川縣

- 中山 每吉 横濱市中區西戸部町大松久保八三六
- 一、横濱市史編纂囑託 二、△相模國分寺志、神奈川縣高座郡史 三、相武史談會其他
- 石野 瑛 同市神奈川區岡野町一三一
- 一、横濱第二中學校教諭 二、△武相の古代文化、武相考古、横濱近郊文化史、琉球大觀、南島の自然と人、考古要覽、國史の考古學的研究 日本職業史、○武相叢書 武相郷土史綱要 三、武相考古會

東京人類學會、日本歴史地理學會、武藏野會、早大史學會、
加山道之助 同市鶴見町佃野三六(鶴見川畔)

一、横濱市役所市史編纂係 二、郷土史及土俗方面一般、往年「おいら」を刊行 三、横濱史談會、横濱郷土史研究會

龜田 輝 時 鎌倉町扇ヶ谷二四三

一、會社員 二、鎌倉並に鎌倉の地に關連せる個所の史的研究所と武家時代に於ける政治的經濟的諸問題の研究 三、日本歴史地理學會

片岡 永左衛門 足柄下郡小田原緑町四ノ六八七

一、柑橘栽培 二、土地の關係上助郷、大名行列、箱根關所、本陣、城主と城町の保護、飯盛下女等の研究 △ 小田原町誌、足柄史料、増補相中雜誌 ○ 騾鈴餘音 三、縣調、小田原報德會

鈴木 重光 津久井郡内郷村

△相州内郷村誌

長谷川 一郎 同郡同村

農學校長

谷川 磐雄 東京市麻布區筈町六九

神奈川縣出身、考古學上の發見多し

堀田 璋左 同市外西ヶ原一〇四

一、横濱市史編纂係(市立圖書館内) 二、地方史、△ 名古屋市史、群馬縣史、横濱史料、○ 横濱市史 三、日本歴史地理學會 四、目下井上馨侯の傳記編纂中

兵 庫 縣

太田 陸 郎 神戸市板宿養老町二ノ一

△播磨民謡考

吉井 太郎 西宮市社家町一〇

一、西宮神社神職(累代) 二、△ 西宮小志、西宮町誌、武庫地方郷土史料目録、武庫地方郷土圖考、先賢遺著廣西兩宮記の校定出版及その解題、傳記年譜の刊行 三、藝香社、縣調

矢内 正夫 姫路市材木町(姫路城の西)

二、歴史、郷土史、△ 姫路名勝誌、河合翁大夫年譜、加古川町史、播磨史談會報、河合大夫傳、播磨古代史 ○ 神崎郡志 三、播磨史談會、名勝史蹟顯彰會

崎 俊男 明石市大藏谷二五八八(人丸山東坂口)

二、考古學一般、郷土史研究 三、明石史談會長

永尾 利三 郎(宋斤) 尼崎市大物町一三二

一、尼崎市史編纂部主事兼市立圖書館囑託 二、尼崎郷土研究 △ 近畿その日歸り、早春(俳句雜誌)

米谷 傳次郎 有馬郡三田町(有馬温泉の北三里)

一、神職、縣社天満神社 二、有馬郡史編纂委員 △ 氏子の栞、神拜の栞 三、聖訓奉旨會、惠風會等

關 敬太郎 同縣同町七五一

一、有馬會圖書館主任、有馬銀行員 二、郷土史料蒐集 三、有馬會 三田博物館 三田郷友會、藩祖記念會等

藤本 政治(木人) 神崎郡栗賀村
山口 次郎 同郡山田村
細田 静夫 多可郡松井庄村(姫路の北東十一里)
一、農二、短歌、詩、民謡、郷土史等 二、△ 評釋、播磨民謡集、義人夏梅氏事蹟考證、薬の雪香(民謡集) 關西新民謡選等 三、竹柏會、白日社、大地會、播磨史話會
釋 種 蓬 仙 赤穂郡赤穂町
一、曹洞宗花岳寺住職、二、赤穂義士及び山鹿素行に關するもの △ 赤穂の史蹟、赤穂地圖、○ 赤穂君臣名鑑、義士年表及文集 三、赤穂義士會、山鹿素行會、佛教聯合會
松 井 拳 永上郡柏原町
一、町立圖書館、永上新開社、大阪朝日新聞通信員等 二、丹波の人物、郷土史料彙集 △ 弘岩和尚遺墨集、永上郡志、兜山餘芳(小島省齋傳) 三、丹波史談會
稻垣 伊作 津名郡由良町(淡路島の東南角)
二、淡路島に關する地理と歴史 三、淡路史談會
佐野 保太郎 東京市外濠谷町伊達八九
一、文部省圖書監修官 二、兵庫縣多紀郡に關する事
神戸史談會 神戸市西須磨上ノ町(兵庫史談刊行)
播磨史談會 姫路市材木町矢田方
淡路史談會 津名郡由良町

有馬郡史談會 有馬郡道場村役場内
丹波史談會 永上郡柏原町松井方

長崎縣

福田 忠昭 長崎市片淵三ノ七三(城の古址の西麓)
一、農、長崎市史編修囑託 二、振遠隊、長崎縣人物傳、△ 共著、長崎史跡人物誌、幕府時代の長崎、長崎市史地誌編輯寺部、長崎郷土誌、杉揚市 三、長崎史談會顧問等
古賀 十二郎 同市銀屋町一九
一、長崎市囑託 二、南蠻人渡來以降幕末に至る期間に於ける日本特に長崎と海外との交渉に關する研究に從事中 △ 長崎市史風俗篇、長崎と海外文化 ○ 日本人によりて用ひられた葡萄牙語 三、長崎史談會顧問
八卷 穎男 同市十人町二四二
永山 時英 同市西山町一ノ八〇(西山神社東隣)
一、縣立長崎圖書館長、長崎市史編修參與 二、長崎を中心とする基督教史、唐蘭貿易史、及び外交史、△ 對外史料美術大觀、切支丹史料、長崎と海外文化、市來史(島津氏發祥地) 三、長崎史談會
武藤 長藏 同市中川町二三〇長崎高商會舍
一、高商教授 二、△ 「日英交通史概觀」、「慶長十四年長崎渡來葡船と其大砲」、「我國最初の商業學校創立計劃者としてのシーボルト先生」並に先生略年譜「ツウシベルク先生と經濟の研究等」 三、長崎史談

會顧問、日蘭協會、日葡協會、日本亞細亞協會、日本醫史學會、三田史學會、國家學會、日本經濟學會

理事 八重津輝勝 長崎醫科大學

人類學研究

久保清 福江町新道

山口麻太郎 壹岐國武生水町

二、民俗研究 △壹岐島方言集

大浦政臣 上縣郡豊崎村

對馬民俗研究

川本達 下縣郡嚴原町大午橋(淺茅浦へ三里)

一、元代議士、今著述業 二、日韓上古史に繋る津馬、壹岐の位置、四ヶ浦と橋小門、海宮山と綿津見神の宮 △日韓交通史附釜山史、對馬人物志、對馬遺事、津馬神社史等

關敬吾 東京帝國大學圖書館

一、長崎縣南高來郡小濱の出身 二、島原半島の民俗

武田勝藏 東京市外代々幡町幡ヶ谷本村北三六六

△對馬島誌

山本靖民 同市外玉川村等々力九九

長崎の出身、島原地方方言研究

長崎考古學會 長崎市本紙屋町五八

新潟縣

星山貢 長岡市外堀金

一、長岡市主事、市農會圖書館司書、市商品陳列所長 二、市場史(六齊市) 越後方言(目下二千言)○
都市農業の本質と其經營法、長岡附近の百姓一揆

菅與吉 北蒲原郡管谷村大字管谷(新潟の東十里)

一、管谷村助役 二、管谷史、管谷史蹟、加地城史考、願文山考、管谷行記、藤原家賢勳王史、古志族考

上野默狂 同郡新發田二三四

一、新發田新聞客員 二、郷土史料編纂 △北蒲原、加治川治水沿革史上下、堀部安兵衛、丹羽思亭 ○
越後義民傳、遠藤七郎傳 三、弘道會北蒲原支會幹事

大木金平 同郡紫雲寺村大字稻荷岡(新發田二里)

一、前小學校長 二、△郷土史概論(紫雲寺郷を中心とする北蒲原郡の史的研究)目下越後史研究中

高橋義彦 中蒲原郡大形村海老ヶ瀬(新潟市の北二里半)

一、農業 二、年來越後佐渡の歴史地理研究 △越佐史料、既刊四冊、未刊四冊

片桐道宇 同郡村松町乙七一九

一、村松銀行常勤取締役 二、北越地方の歴史地理 △中蒲原郡志及び郷土讀本編纂 三、越佐徴古館の史料蒐集及び村松町史編纂

幸 田 文 時 西蒲原郡吉田町

△きことば(方言研究)

大 橋 永 三 郎 南蒲原郡加茂町大字上條

一、天理教會長、養徳文庫主事 二、加茂郷土誌の史料蒐集及編纂、越佐名家墳墓誌編纂 △小池内廣翁傳等 三、考古學會

相 馬 昌 治 西頸城郡糸魚川町大字天町

一、著述業 二、一般郷土文化 三、考古學會、民俗學會

橋 立 林 平 小頸城郡直江津町安國寺三四

二、米山と其附近 ○柿崎和泉守景家 三、上越考古會

工 藤 令 太郎 岩船郡村上町

久しく同郡粟島浦小學校長として在職

山 本 半 藏(靜古) 佐渡國眞野村大字新町(眞野山陵四十五町)

一、銀行代理店主任 二、佐渡史實、石器、化石、古瓦、古泉、古書畫、印、往來物等 △懷舊集
○人物名數二冊、義書紀文、佐渡碑文集、佐渡警備雜記、佐渡名木調査、佐渡の金石 三、縣調 村教育會長

本 間 周 敬 佐渡郡眞野村大字新町

△佐渡人名辭書、佐渡の史蹟、眞野村誌(共著)

岩 木 擴 同郡相川町大字下戸炭屋濱町

二、郷土史 △佐渡名勝、佐渡國誌、相川町誌、畑野村誌

埼 玉 縣

岸 傳 平(素亭) 川越市多賀町

一、市會議員、川越市史編纂委員、川越圖書館囑託 二、郷土史及び史蹟、並に繪畫 △川越城主年表

中 西 新 太 郎(紫雲) 北足立郡土合村 櫻草自生地(東約二千丁)

二、金石に關する研究及名家の墳墓探見 三、集古會、上毛考古會、埼玉郷土會

山 口 文 治 入間郡山口村(所澤町より西一里)

一、郷社中氷川神社々司 二、郷土史、考古學 三、武藏野會 史蹟保存協會、埼玉郷土會

大 林 織 善 同郡勝呂村赤尾

德 子 龍 同郡大森村森戸 東上線坂戸驛西一里

二、板碑の探訪、古墳の探尋等凡て郷土の傳説遺事研究中、石器所藏凡千五百點 △瀬田小記、瀬田三稿

録倉古道考 ○武藏に於ける山海二道の關係、苦村野戰役考、淺羽古城址、宿谷氏系譜考、三、考古學

大 塚 仲 太 郎 比企郡小川町大塚(熊谷より西南四里)

二、目下農、前小學教員 三、郷土史、特に仙覺律師遺蹟の研究 三、埼玉郷土會

新 井 順 一 郎 同郡松山第一小學校(川越市西北四里)

一、教員 二、「兒童の埼玉郷土史」上下「むらさきの聖筆」雜草 三、埼玉郷土會

菅 原 一 秩父町中町(秩父鐵道秩父驛)

- 一、會社囑託 二、雜學 三、秩父考古研究會主
 田 稻 太 郎 同町秩父神社々司
 井 寅 松 兒玉郡本庄町
 一、本莊中學校教諭 二、武藏野の古代文化 △ 國史準據埼玉縣郷土史、埼玉縣地理歴史
 鑽 宮 守 同郡青柳村(兒玉町西一里半)
 一、縣調、埼玉縣史編纂委員 二、石器古墳時代及び鎌倉武士遺跡研究 三、西武考古會、埼玉史談會
 四、神典研究
 河 野 省 三 北埼玉郡騎西町(忍町より南東三里強)
 一、縣社玉敷神社々司、國學院大學教授 二、神道、國民道德等 △ 國民道德史編、神祇史要、神道大
 綱等 ○ 國學史の研究、神道の研究
 小 林 好 三 南埼玉郡久喜小學校長
 秩父地方の郷土、民俗研究
 高 城 長 三 郎 同郡日勝村小久喜(東北線白岡驛西北七丁)
 一、養蜂、盆栽 二、郷土史、史前學、蜂類 三、大山史前學研究會
 歴史研究會 埼玉縣立師範學校内

群 馬 縣

- 豐 國 義 孝 前橋市南曲輪町一九
 一、月刊「上毛及上毛人」主筆 二、郷土に關する考古學、歴史 △ 前橋繁昌記 高崎繁昌記 三、上毛
 郷土史研究會會長 上毛考古會、縣調
 大 圖 軍 之 丞 群馬縣廳社寺課主任、縣調幹事
 櫻 井 菊 次 郎 前橋市榮町六二
 一、前橋市會副議長 二、考古學、歴史、郷土志 三、上毛考古會、古前橋研究會
 佐 藤 銳 太 郎 同市立圖書館
 一、司書 二、郷土史、土俗 三、上毛考古會 古前橋研究會
 原 田 龍 雄 同市神明町二一
 勢多郡誌編纂中
 福 島 博 群馬郡總社町(前橋市より西一里)
 一、縣調 三、總社史蹟保存會
 小 山 留 彌 高崎市下横町
 二、△ 高崎故人物研究、高崎市史上下 三、上毛郷土史研究會、區長、縣方面委員
 田 村 榮 次 郎(春莊) 桐生市本町四丁目(足利學校より四里)
 一、寫生派畫士、傍池坊生花教授 二、有史以來の史蹟の趣味的研究(特に小作問題、百姓一揆など)
 三、桐生郷土史研究會幹事、上毛郷土史研究會
 八 木 昌 平 同市山町
 一、桐生高等女學校校長 二、△ 靜岡縣田方郡誌、群馬縣史、第四卷 群馬縣吾妻郡誌 三、縣調

岡部 福藏 同市今泉町

一、桐生高女在職 二、群馬縣郷土史、特に新田氏族と其郷土、高山彦九郎事蹟、△ 上野人物志、桐生地方史、渡良瀬沿岸地方史蹟 三、上毛考古會、桐生郷土史研究會 四、新田族の土着地方研究資料の惠報を乞ふ。

内山 留一 郎 群馬郡金古町金古字四ツ家(前橋市の西二里)

一、印刷 二、俳句、性的神祕、古墳、佛像、古碑、板碑、紋章、城郭、農民一揆、○ 上毛農民一揆史 三、上毛考古學會、上毛郷土史研究會、上毛淫祠邪神研究會等 四、社會民衆黨茂呂支部、上毛土俗學會金古支部

牧 震 太郎 同郡同町金古一(一九二)前橋市西北二里半

一、自宅開業醫師 二、新聞雜誌に發表 三、上毛郷土研究會、武藏野會

松 田 鎮毛鶴 多野郡日野村

一、日野第四小學校校長 二、俳句、和歌、俚語、民謡、地質學、物産史 △ 多野郡人物誌、多野郡誌 ○ 南毛名迹、地理歌謠、上毛三碑研究 三、上毛郷土史研究會

淺見 作兵衛 同郡藤岡町

一、古墳發掘品蒐集及詩文研鑽、考古學研究併考古圖録編集

堀 口 薫 治 同郡入野村馬庭(西十丁にして多胡碑)

一、農 二、△ 入野村郷土史、多野郡誌、半生の旅 三、上毛郷土史研究會 四、馬庭は念流劍術の宗家樋口氏の所在地につき目下念流全傳執筆の計劃中

中里 重 治 碓氷郡後閑村中後閑(安中町の西二里)

田中 善 次郎 同郡安中町二(八二六)高崎の西三里

一、農 二、イ、地方自治發達の資料研究 ロ、地方的農家、副業の施設 △ 碓氷郡志 二、目下「孤舟文叢」執筆中 三、郡内中部自治研究幹事長、町會議員等

秋山 吉 次郎 利根郡桃野村(沼田町の西北二里)

一、桃野村長 二、國史 △ 富山縣射水郡誌編纂、小野善兵衛翁傳 三、上毛郷土史研究會、毛野研究會

鶴淵 伊勢 松(螢光) 同郡白澤村尾合(沼田町より三里)

一、白澤村役場 二、沼田地方史、先住民遺物 三、上毛郷土史研究會、考古講座

小林 德 助 同郡川場村大字立石

一、農業 二、郷土に於ける石器時代並に考古方面、郷土の史的事實 三、上毛郷土史研究會、同考古會

鈴木 鱗 山田郡毛里田村矢田堀(金山城北一里)

一、毛里田西小學校長 二、古墳、古城址、古銭、東毛古墳考、金山城の史的考察、日本繪錢考 三、東毛考古會長

前原 寛 三 同郡廣澤村(桐生市の南二里)

一、神職 上野國十二社式内加茂神社々司 二、上野國神名帳、上毛國學歌人傳、上毛地誌の蒐集と校訂。桐生山田郡地方俚語と土俗信仰傳説、桐生織物史料蒐集 ○ 上野國神名帳纂註、標註山吹日誌 三、上毛郷土史研究會、上毛考古會、桐生郷土史研究會幹事、桐生織物史料編纂會

岩澤 正 作 同郡大間々町三丁目(桐生市西北二里半)

一、公立普通學校、縣調 二、博物館、先史原史考古學 △ 赤城山、上毛三山妙義山、赤城山から庚申

- 奥山 三、上毛考古學會、群馬縣博物館、毛野研究會々々長、東京人類學會長等
新田郡笠懸村阿左美(桐生市の西一里)
一、笠懸小學校 二、大正十三年以來學校内に郷土館設立し資料蒐集 三、上毛考古會
石原 春吉 同郡同村鹿田
一、赤城神社々々掌 二、新田史研究 三、上毛郷土史研究會、上毛考古會、文保
岡部 駒次郎 同郡強戸村大字強戸(前橋市東八里)
一、強戸郵便局長 三、上毛考古會、上毛郷土史研究會
長山 健次郎 同郡綿打村大字大根(新田金山の西二里)
一、醫師 二、考古學、郷土史、古錢 三、上毛考古學會、上毛郷土史研究會 四、趣味は書畫、骨董、刀劍等
松崎 傳次郎 同郡太田町
一、金山圖書館司書 二、國史並に郷土史 △ 太田町史 三、太田青年團顧問、東青毛年讀書會顧問
四、趣味は刀劍鑑定と俳句
内田 英雄 同郡太田町一ノ九大古庵
一、庭師 二、東毛、新田、山田、邑樂三郡、石器時代遺物遺跡、出土品の蒐集及各時代に於ける遺物及古文書 三、上毛考古會、東毛考古會、備後郷土史會 四、個人陳列所を建て一般に研究展覽する考にて準備中
相川 之賀 佐波郡伊勢崎町五八八
一、果樹園經營 二、日本上代文化並古墳、郷土 △ 伊勢崎歴史上卷 三、考古會、武藏野會 上毛郷

土會、縣調

- 福島 南 同郡伊勢崎在
一、元小學教員 二、郷土を中心とする原始、先史及び歴史時代の研究、並に如何にして之を郷土の兒童に普及すべきか 三、上毛考古會、上毛郷土誌研究會
依田 省三 群馬郡榛名山町
一、榛名山神社々司、神道榛名教會長 二、榛名山史考古學的研究、山誌、傳説、教山史 三、上毛及上毛人
本多 龜三 北甘樂郡黒岩村
△北甘樂郡史
高橋 誠司 東京市外落合町下落合二五一〇
一、内務省神社局 二、△多摩の御陵を繞る史蹟、群馬の史蹟名勝、群馬縣史蹟名勝調査報告第一輯
三、文保、日本保勝會 四、群馬縣出身
中島 悦次 東京市外田端四九一
一、著述業 二、上代國文學の傳説學乃至民俗學的研究 △ 神話、宇治拾遺物語新釋等 三、上毛郷土史研究會同人
上毛郷土史研究會 前橋市南曲輪町(上毛及上毛人刊行)
總社史蹟名勝天然記念物保存會 群馬郡總社町
古前橋研究會 前橋研究會

桐生郷土史研究會 桐生市今泉
東毛考古會 新田郡太田町

千葉縣

今井 幸 則 東葛飾郡湖北村
水野 盈 太 郎(葉舟) 印旛郡龜山村駒井野大水野
附近の民俗に詳し
林 壽 祐 長生郡鶴枝村(房總線茂原驛南(一里))
一、田園生活の傍ら雑著 二、動物學及び房總郷土につき研究、房總郷土に關し十數種の著を刊行、動物に關しても十數種あれど未刊 三、房總郷土研究會 四、多年房總に關する圖書蒐集、將來房總文庫設立の目的
内 田 邦 彦 同郡二宮本郷村字眞名
醫師 △ 津輕口碑集、南總の俚俗
室 岡 善 太郎 香取郡久賀村
小 熊 吉 藏 君津郡吉野村障子谷(大貫驛より一里)
二、郷土を中心としたる地誌及歴史(考古學的方面)、奈良朝時代の東海道、我郷土にては何處、國府郡家の所在如何等 三、文保
谷 中 國 樹 同郡小糸村根本二三五(木更津驛より四里)

一、農 二、史學、人類學、考古學、土俗學等 △ 千葉縣君津郡誌二卷 三、史學會、人類學會、考古學會、民俗學會、史前學會、縣教育會等
椎 名 忠 治 佐倉町
一、佐倉高等女學校 二、〇 印旛湖考、千葉縣印旛郡誌、千葉縣印旛郡自治誌
高 橋 淺 治 郎 八日市場町
一、敬愛高等女學校教頭 二、修身、教育兩科擔任 三、千葉縣教育會
香 取 秀 眞 市外田端四三八
帝國美術院會員、鑄金家、下總印旛郡出身 △ 日本鑄工史稿

茨城縣

荒 井 庸 夫 水戸市上市藤澤小路三五二
一、水戸市視學 二、茨城縣史蹟 △ 平將門論 三、縣調、水戸市及茨城縣教育會
菊 池 謙 二 郎 同市梅香(千波湖の北崖)
二、目下水戸義公に關する史料蒐集、水藩歴史 △ 藤田東湖傳、東湖全集、義公略傳 〇 幽谷全集
三、史學會
原 幸 行方郡玉川小學校(潮來町附近)
二、郷土の地理的研究 〇 西蓮寺市の研究
中 村 實 水 眞壁郡河内村大字關館(下館町より南三里)

一、著作業、關城遺蹟保存會長、護國園主 二、郷土史、南朝史實、漢學、佛學 △茨城縣猿島郡郷土大觀、福島縣石城郡郷土大觀、勸王僧本願寺廣如、關東の教田等
長南倉之助 土浦在大岩田(土浦の南二十町)
一、土浦中學校教諭 二、常總地方に於ける貝塚並古墳等の研究、隠れたる偉人傑士(特に勸王家、社會的事業家)の事業 三、常總史談會
蛇原 濱 壽 日立鐵山本山
常陸國稻敷郡の出身

栃木縣

田代 善吉 宇都宮市西原町二五二一
一、縣女子師範 二、郷土史、食物史 △栃木縣誌、宇都宮誌、食物史、下野郷土史等 三、下野史談會主、日本地理歷史會員
丸山 瓦全 足利市通五丁目三一九五
一、油醬油販賣業、二、縣内遺蹟遺物 三、縣調、足利考古會幹事
高橋 勝利 芳賀郡逆川村
縣内の土俗研究
佐藤 行哉 同郡大内村
古谷 清 東京市外落合町下落合一、二四八

一、文部省宗教局保存課囑託(今春迄日光東照宮寶物館主事) 二、栃木縣調 △栃木縣調報告四冊、那須史蹟名勝、日光東照宮修營志、日光東照宮奉納品一覽及附説、東照宮寶物志等 三、文保、考古學會 日本歴史地理學會、史學會、集古會

下野史談會 宇都宮市西原町(下野史談發行)
足利考古會 足利市通り五丁目

山梨縣

赤岡 重樹 甲府市富士見町一
一、甲府高女教諭 二、本縣先住民族の遺物遺蹟、古墳、金石學、本縣の神社史、本縣教育史、甲府城勸番始末、烽火臺址、驛通史、武田浪人の研究 △西山梨郡誌、中巨摩郡誌、甲斐國式内社並國史現在社考 三、縣調、甲府市教育會、歴史研究會
廣瀬 廣一 同市元連雀町二
一、自宅農業 二、目下農史の研究 △甲斐國史校訂、山縣大貳遺著 ○山縣大貳事蹟、武田信玄傳記 三、甲斐史學會主幹
萩原 賴平 同市舞鶴城内縣立圖書館
△甲斐讀本上下
土屋 操 鹽山町(甲府の東四里惠林寺の南一里)

土 橋 里 木 西八代郡九一色村
郷土の童話蒐集

静岡縣

貞 松 修 藏 静岡市東草深町一ノ五六

一、公立圖書館長、縣立奏文庫 二、△山梨稻川集 ○沼津兵學校及附屬小學校についての考證、
三、縣教育會、日本圖書館協會、静岡文化協會等

法 月 俊 郎 同市吳服町六ノ九

一、商人、縣調 二、駿河の郷土史、富士山研究、地蔵、河童、地方玩具 △郷土文事年表、晁東仙郷
誌(静岡遊廓史)等 三、静岡史料研究會、いもづる同人

足 立 敏 太郎 同市鷹匠町三丁目四九ノ一八

一、縣史編集主事、縣調 二、國史、國文、國民道德、考古、古美術、神祇史 △南豆風土誌、南豆神
祇志、南豆俚語考、幸藻、三宅記考、松江稻歌考解、静岡縣史蹟名勝誌、静岡市史編纂資料、加茂の光
等 三、日本考古學會、東京人類學會、日本歴史地理學會、文保

村 田 長 兵 衛 川崎町(藤相線川崎町驛北一里)

一、小學校教員 二、郷土史、考古學 △藤原郡誌 三、考古學會、縣調
伊 藤 泰 吉 同町(藤相線根松驛北二町八ノ)

一、中等教員 二、郷土史、考古學 △藤原郡誌 三、縣調

西 郷 藤 八 小笠原平田村上平川(堀之内驛の南一里餘)

一、農 二、原史時代の考古學的研究(主として古墳) 郷土史並に土俗傳説 三、考古學會

山 崎 常 磐 同郡西南郷村(東海道掛川驛南二丁)

二、遠江史資料蒐集、遠江考古學、南都史研究

飯 尾 哲 爾 濱名郡曳馬村高林

一、雜誌「土のいろ」編輯 二、郷土研究

増 田 又 右 衛 門 同郡北濱村(三方原より東一里)

一、北濱高等女學校校長 二、△増補濱名郡誌、西遠の史蹟と國史教科書との連絡 三、縣史編纂委員囑

夏 目 修 三 濱名湖畔三ヶ日町

一、料理旅館 二、傳説蒐集、濱名湖畔探勝、濱名畔探勝圖繪、傳説の濱名湖等 三、三ヶ日町侯勝會幹

堀 田 美 櫻 男 焼津町焼津(東海道線焼津驛)

一、焼津水産學校 二、日本先史時代 三、縣調

齋 藤 要 八 伊豆熱海町

後 藤 肅 堂 東京市牛込區藥王寺町八四

二、遠州の舊事に通ず ○倭寇史

愛知縣

三四

- 土井 禮 名古屋市東區新出來町五ノ七一隨樂庵
一、第八高等學校事務囑託 二、△渡邊華山、全樂主義 ○全樂堂渡邊華山傳、英雄太閤と歌聖蟬丸
大口 全三 郎(佩爾) 同市東區富士塚二ノ七
一、目下徳川侯爵家囑託(什器調査) 二、郷土人物の事蹟調査「汲古」編纂 ○名古屋市史人物編
三、汲古會
中島 清 一 同市東區撞木町一丁目
二、名古屋史談會々誌編輯(常任幹事)
安藤 次 郎(柳人生) 同市西區船入町一ノ八
樋口 千代 松 同市南區瑞穂町中坪二四
一、本年五月名古屋圖書館を辭す 二、哲學、教育學及和漢書研究 三、圖書館事業及社會教育方面
高崎 正 秀 同市
一、第一高女高等科教員 二、民俗學、國文學方面 三、國學院大學郷土研究會
矢頭 和一 同市外西枇杷島町
三河國西賀茂郡出身
坪井 忠 彦 同市中區島森町七七
一、惟信中學校 二、民俗學、日本古代史 △口丹波口碑集 三、國學院大學郷土研究會

- 松村 靜雄 同市中區末廣町三ノ一〇
一、雜誌「紙魚」編輯 二、名古屋の舊事に通ず
丸地 古城 豐橋市東田字西郷
一、新聞記者 二、石器時代、古墳 三、趣味會、豐橋郷土史友會
山本 松 二(曉堂又天嶺園主人) 同市東田町
一、表具職 二、△東參勢力消長研究二卷、吉田神社史十七卷、三河舊蹟誌料稿四卷、豐橋花柳界誌料十卷、古白(吉田築城者)研究二卷、龍拈寺開基考、俗語(吉田通れば)考證等 三、豐橋史友會、東參歷史會
稻垣 豆人 岡崎市康生町
一、瓦斯會社員 二、玩具蒐集 三、岡崎趣味會
柴田 顯 正 同市伊賀町
一、市立圖書館長 二、岡崎市史 三、岡崎趣味會
加賀 紫 水 一宮局私書函第二十四號土俗趣味社
一、月刊土の香發行
名倉 聞 一 幡豆郡三和村貝吹
窪田 五 郎 額田郡奥殿小學校
原田 清 北設樂郡本郷町
熊谷 好 惠 同郡段嶺村
市橋 鐸 史春日井郡小牧町西春日
△田峰炬燵話正續二篇

三五

川合 徳太郎 下谷區谷中天王寺三六

今泉 忠義 一、徳川家研究室 二、江戸時代に於ける舊尾張藩の領地木曾の林政史研究 三、林學會、林學士會
愛知縣設樂郡の出身、郷土の舊事に通ず

早川 孝太郎 市外池袋九六六

一、畫家 △三州横山話等

名古屋史談會 名古屋市中區南大津町(名古屋史談會誌刊行)

名古屋溫古會 同市中區島田町二丁目

岡崎趣味會 岡崎市圖書館内

三重縣

梅原 三千 津市二番町

一、藤堂伯爵家編述委員 二、△藤影記(久居藩事蹟)其他郷土人物傳等十數種 ○津市史稿五十卷(津藩史)

鈴木 敏雄 同市外灘見(安濃郡安東村灘見)

一、津高女、縣調 二、主として縣内の考古學、俗史傳説 三、日本考古學會、大山史前學會

若山 善三郎 宇治山田市豊川町石川方
一、神宮皇學館教授、縣史蹟名勝天然記念物調査會員 二、尾張及其附近の史蹟の研究「國史教授資料」

三、名古屋溫故會 四、名古屋市西區出身

櫻井 祐吉 飯南郡松阪町西町

大西 源一 多氣郡相可町矛國二〇六(松坂の南二里)

一、農、宇治山田市神宮司職 二、國史研究、特に南北朝史、交通史、經濟史及海の文化史的研究 三、縣
調、史學會、史學地理學同友會、人類學會、考古學會、文保、等

佐々木 彌四郎 阿山郡上野町忍町

一、上野中學校 二、伊賀の郷土史

中林 正 三(楓水) 同郡上野町丸之内(伊賀上野驛南半里)

一、著述業、二、郷土の歴史 △伊賀越敵討研究、伊賀の暖簾と人物誌、名賀郡史、河藝郡史、飯南郡史
松坂町史等 三、現在阿山郡東北七ヶ村早害史執筆中

村治 圓次郎 伊賀國上野町

一、參宮急行電鐵囑託 二、郷土史研究、伊賀越仇討、ばせを翁の事ども 三、歴史地理、考古會、史林
風俗研究、佛教美術等、伊賀史談會幹事

井上 頼壽 京都第二中學校

二、南伊勢の志摩の古事に詳し

三重史談會 飯南郡松坂町西町櫻井祐吉方

伊賀史蹟踏査會 上野中學校佐々木彌四郎方

奈良縣

三八

- 森口 奈良吉 奈良市外尼ヶ辻西方
一、春日神社禰宜 二、△神武天皇親祭の聖蹟、丹生川上神社考、鳥見靈時考、吉野離宮考、春日神社金石銘表、神社大鑑、春日神社記録目録等 三、縣調、奈良縣神職會
高田 十郎 同市西紀寺町東口
一、奈良師範學校 二、大和民俗に關する研究多し 三、「奈良」編輯
松本 橋重 同市大阪朝日新聞通信部
佐藤 小吉 同市半田開町九三ノ六興福院ノ上
一、奈良女高師教授 二、神代物語、日本の婦人、南淵先生事蹟考、春日の祭、長閑堂事蹟考等 三、縣調
京谷 康信 生駒郡龍田町大字龍田
「かたぎり」編輯
田村 吉永 山邊郡丹波市町大字田部(天理教本部所在地附近)
一、添上農學校 二、天誅組の研究、節齋先生詩鈔等 三、大和史學會、大和文化漫談會、縣調
松田 賢三 山邊郡東里村小原
二、川魚の研究
保井 芳太郎 北葛城郡王寺町(信貴山麓龍田神社附近)
一、産業貯蓄銀行王寺出張所主任 二、大和國郷土史研究 △龍田紅葉案内、大和古瓦圖錄、大和國郷土

研究史料蒐集 三、大和史學會

- 杉田 定一 吉野郡野迫川村大字北股(高野山の東南三里)
一、北股小學校長 二、△柳生藩舊記、柳生六百年史、戰國時代の柳生氏、柳生の研究古文書篇、坂崎出羽守と徳川千姫、野邊川村の歴史と史蹟、北股古文書等 三、史談會
森田 良三 高田町(奈良より西南七里)
一、大阪毎日新聞記者 二、郷土及び考古學 三、大和史學會、高田史談會、大和文化漫談會
澤田 四郎 作 東京市外西巢鴨町庚申塚三二〇、
一、帝大醫學部附屬醫院小兒科醫局、奈良東葛城郡の出身、

滋賀縣

- 塚本 源三郎 神崎郡南五個莊村川並(能登川驛より一里)
一、商業、隱居 二、近江商人につきて
中川 泉 三 坂田郡柏原村大字大野木(柏原驛北二十五町)
一、農 二、地方史と詩文 △坂田郡志三卷、蒲生郡志十卷、栗太郡志五卷、愛智郡志五卷、長濱町志四卷、賤岳懷古集、太湖三十勝、觀音正寺由來記等 三、史學會、大日本歴史地理學會、考古學會等
岡島 彌左衛門 同郡大原村大字烏脇區長
菅原 和太郎 彦根町高商内
一、高商教授 二、近江商人

三九

横山 英 壽 長濱町外大原村

一、福井縣立敦賀商業學校 二、雨乞師、農村住宅

黒田 惟 信 神奈川縣横須賀軍港若松町四三

一、日本陸海軍人傳道義會主任 二、佐々木氏(特に京極氏、黒田氏)の研究、随つて江北を主として其關係ある諸地方の地理歴史の研究 △滋賀縣東淺井郡志

北村 壽 四 郎 大阪府西成區南神合町一七

一、湖東燒の研究 △彦根曆日史、彦根温古録 ○近江窯業史、石器時代の土器より現代の陶磁器まで、元祿以來食用の近江牛 四、滋賀縣彦根町出身

岐 阜 縣

伊 藤 信 大垣市藤江町石原前六八ノ一

一、大垣市立高女教諭 二、△美濃文教史要、岐阜縣教育五十年史、梁川星巖翁、大垣市史等 三、縣調

黒柳 房 吉 同市歩行町

一、田園生活 二、大垣に關する地理歴史(關ヶ原陣島原征討史等の史料蒐集) 三、大垣史談會

阿部 榮 之 助 同 市

一、大垣中學校長 二、濃飛兩國通史、美濃國條置遺趾 ○加茂郡誌、郡上郡史、揖斐郡志、惠那郡史、惠那郡神社志 三、縣調

小川 卓 爾 女子師範學校

藤井 治 左 衛 門 不破郡關ヶ原町

一、教諭 二、郷土の俚語、童謡、童話傳説等

二、不破郡史、關ヶ原戰史 三、縣調

中 島 俊 司 安八郡福東村字鹽喰(大垣の南三里)

一、地主 二、家業の餘暇に京都市外醍醐寺史編纂中、「岐阜市史」 三、歴史に關係ある學術團體四五に關係 四、郷土の治水史研究を希望

小川 榮 一 揖斐郡鷺村大字大友斐(岐阜の西四里)

一、農、縣調 二、明治三十年より美濃國の古蹟研究、四十一年より考古學的研究調査に志し、その結果

は岐阜縣史蹟調査報告書其他に發表 △揖斐郡志 三、考古學會員、東京人類學會員、美濃考古會幹事

四、美濃關係の各種研究資料數千點を藏し研究家の便を計らんとす

林 魁 一 賀茂郡太田町(日本ラインの北岸)

一、加茂郡農會長、太田町會長 二、美濃國に於ける考古學特に石器時代研究、美濃國に於ける農村風俗

俗語等の研究 △美濃國石器時代地名表、藤城遺稿 三、東京人類學會、考古學會、史前學會、民俗學

會、岐阜考古會、文保

梶 田 誠 大野郡丹生川小學校

二、方言研究

高 島 正 同郡下味見

一、圖書館長 二、△大野郡誌等

宮 田 稔 彦 同郡高山町

角

一、日本畫家 二、山岳に關する地史的並びに人文史的研究 三、飛驒史壇會
竹 喜 登 同郡同町

一、斐太中學校 二、飛驒を中心とする郷土史の全汎(殊に郷土史を教育的に着眼) 三、飛驒史談會(同
會雜誌編輯) 四、飛驒に關する史料を蒐集し郷土教育資料文庫と命名し保存を計ると共に希望者に利用
の途を講じつゝあり

住

廣 造 同郡同町

飛驒に關する澤山の書の復刻あり

岡

本 利 平 吉城郡國府村

大垣史談會

大垣市歩行町黒柳方

飛驒史談會

大野郡高山町(飛驒史談刊行)

長野縣

小池直太郎

長野市旭町信濃教育會

△小谷口碑集

胡桃澤勘内

松本市葵馬場町一五

一、會社員 二、東筑摩郡誌別篇整理中 三、眞澄遊覽記刊行會

矢澤米三郎

松本市西町四四九

神津

猛 上田市鷹匠町

一、信濃銀行常務取締役 二、信濃に於ける布目瓦 三、上田史談會、信濃考古會幹事として會報發行(年
六回)

花岡茂三郎

同市鍛冶町

藤澤直枝

同市大字常入一四一

一、上田中學校教諭 二、信濃史中主に北信地方の研究 △赤松小三郎先生、川中島戰史、眞田幸村、國
土叢書、日本歴史精要、西洋地名歴史 三、上田史談會長、縣調、長野縣史編纂委員

星野詰之助

北佐久郡小諸町甲二七六五

一、以前町政に關係せしこと四十年 二、△淺間山噴火記、變異記、小諸、明治沿革史 四、温故に關す
る書類の蒐集、大正沿革誌調査中

小山眞夫

小縣郡武石村(丸子町より南二里)

一、元小學校教員、今農業 二、郷土史一般、郷土民俗、郷土の考古學的調査 △小縣郡史、小縣郡民話
集 ○清淨火の保存、信州上田藩の平民格式、歴史年圖、小縣郡の石造多寶塔 三、縣調、考古學會、

上田史談會

小池安右衛門

諏訪郡北山村湯川功德寺

北山小學校教員

今井眞樹

諏訪郡平野村

諏訪史料叢書編輯

三澤勝衛

上諏訪町

- 一、諏訪中學校 二、長野縣の郷土地理研究
唐澤 貞二郎 上伊那郡伊那町
伊藤 兵三 下伊那郡飯田町
岩崎 清美 同郡同町
△傳説の下伊那
市村 成人 同郡山本村(飯田町より南方二里餘)
一、飯田高女教諭 二、南信濃を中心とした郷土史の研究 △松尾多勢子、下伊那人物傳、伊那尊王思想史、平安時代の伊那郡 三、縣調、下伊那教育會歴史調査會
一志 茂樹 北安曇郡社村
野中 太氣彦 埴科郡寺尾村大字寺尾(長野市南二里半)
一、埴科郡戸倉小學校教員 二、南條村、埴科郡の郷土研究 三、南條郷土研究會、埴科郷土研究會、上田史談會
岩崎 長思 上高井郡須坂町(長野市の東二里)
一、長野縣須坂中學校校長 二、信濃國郷土史全般 三、縣調、長野縣史編纂委員、一市五郡郷土史研究會、上高井郡郷土史研究會
長坂 颯 高遠町
一、元小學校教員今農業 二、和歌、漢詩、俳句 △新選高遠誌、おやのつとめ、公德家御子柴艶三郎傳 三、高遠地方研究會、上伊那東部俳句會
羽生 永明 東京市外濫谷町氷川五三

南信の歴史に詳し

- 埴科郷土研究會 埴科郡戸倉小學校内
上田史談會 小縣郡上田市

宮城縣

- 藤原 相之助 仙臺市北五番丁
一、病氣家居 二、奥羽の地名とアイヌ語の關係、奥羽地方の方言と特殊の習俗 △日本先住民俗史
阿刀 田令造 同市三百人町一七二(電話二一七八)
一、第二高等學校教授 二、仙臺藩の切支丹關係、海外關係、仙臺藩の古地圖、百合若傳説、蘇民將來、△西洋史概説、西洋史論、編纂せるものは名取郡誌、郷土婦人のかきみ 三、文保、東北文化會
清水 東四郎 同市越路三四
一、東北學院教員 二、△明治天皇聖德志、登米郡史二冊、仙臺市史 ○宮城縣史 三、郷土史談會、縣保
伊東 信雄 同市北六番町三八志村方
三原 良吉 同市米ヶ袋中丁五六
一、河北新報社學藝部 二、民俗玩具 三、小芥子會、民俗玩具研究)
小倉 博 同市北四番丁五
一、財團法人齊藤報恩會學術部(同市大聖寺裏門通三) 二、仙臺郷土一般(目下仙臺淨瑠璃研究中) △仙臺

名勝松島、仙臺郷土誌

中川善之助 同市光善寺通六四

常盤雄五郎 同市土樋九八

一、東北帝國大學附屬圖書館 二、仙臺關係史料蒐集 三、郷土史談會

刈田 仁 同市東大番町四二

二、仙臺地方に於ける人文地理研究 三、仙臺郷土研究會主宰、東北民俗研究會會員 四、仙臺市教育會編

「仙臺郷土誌」編纂中

毛利總七郎 石巻町住吉町一一三

石巻地方遺跡調査者、古い人類學會員

山本茗次郎(鹿洲) 釜石町尾崎神社々司

菅野千輔 本吉郡氣仙沼町

那智俊宣 東京市外戸塚町諏訪九〇野々垣泰明方

宮城縣南部の舊事に通ず、音樂家

齋藤 忠 東京府下松澤村松原八八三山下方

帝大文科學生、宮城縣出身

郷土史談會 仙臺市東北學院清水東四郎方(郷土史談會報刊行)

東北文化研究會 東北大學内

福島縣

池内儀八 福島市大谷地一〇

一、女子師範學校 二、石器時代 △福島縣通史、會津史和裝十冊、東北に於ける古城柵研究、白虎隊間

瀨源七郎傳 三、縣訓、福島史談會、會津史談會、北陽史談會、靈山顯揚會等

齋藤巴江 同市新町七八

一、福島毎日新聞社編輯局長 二、靈山寺に關する事蹟及び史實 三、靈山保勝會幹事、福島史談會幹事

菊池研介 耶麻郡關柴村平林八八九(喜多方驛の東一里)

一、關柴信用購買販賣組合事務理事 二、△若松市を中心としたる會津案内、會津資料叢書、續會津資料

叢書 ○解題文學略史、會津資料解題 三、日本歴史地理學會、民俗藝術の會、會津會、喜多方史談會

幹事等 四、私立圖書館を経営し郷土資料を蒐集

平島郡三郎 安達郡小濱町土川西五三(東北本線二本松驛の東二里半)

一、小濱小學校教員 二、△青田村、石井村 小濱町、安達郡及福島縣の郷土誌並に地歴唱歌編述、安達

郡誌、同善行美事錄、二本松町史編纂 三、小濱青年道友會顧問、史蹟保存石標建立

高木誠一 石城郡草野村

一、前村長 二、△相馬農藩政史考 三、相馬郷土研究會

今野美壽 双葉郡津島村

渡邊晴雄 相馬郡上眞野村

一、小學校教員 二、考古學 三、相馬郷土研究會

佐藤 精明 同郡石神村深野

一、著述業 二、相馬藩政 △相馬史談、中村町治一斑、相馬偉人傳、講武餘韻、双峰文集上下 三、相馬郷土研究會

石澤 寛一 棚倉町

一、小地主兼自作 二、郷土傳説の藝術化 △東白川郡史、東白川郡會史 ○山街白夢記

福島 史談會 福島市佐藤病院内

郡山 史談會 郡山市池の臺松山傳三郎方

喜多方 史談會 耶麻郡喜多方町原平藏方

岩手縣

鈴木 重男 盛岡市加賀町新小路

太田 孝太郎 同市盛岡銀行内

菅野 義之助 盛岡高等女學校長

橋正一 同市新馬町中通り

新渡戸 仙岳 同市仙北町組町一〇四

一、新聞業、岩手毎日新聞社

鳥羽 源藏 岩手縣師範學校

大坊 善章 岩手縣瀧澤村
一、師範學校教諭 二、人類學、考古學、博物學

二、人類學(特に樺太事情)

田中 喜多美 同郡雫石村

小笠原 謙吉 紫波郡雫山村(盛岡市の南三里)

一、農業、村長 二、△紫波郡誌 三、考古學會、大山史前學會

織田 秀雄 膽澤郡岩柳村

小田 島 祿郎 江刺郡岩谷堂町(永澤驛の東北二里)

一、岩谷堂高等女學校 二、△岩手縣下に於ける堅穴及チャシに關する報告書、同古碑古墳に關する報告書、岩手考古圖集 三、縣調

及川 與惣治 氣仙郡末崎村

一、村會議員、農業 二、郷土史 三、南部叢書關係者

佐々木 喜善 仙臺市川内大工町七四

二、△奥州のザシキワラシ、江刺郡昔話、紫波郡昔話、岩手郡昔話、和賀郡昔話、老嫗夜譚、東奥異聞

板澤 武雄 東京府豊多摩郡杉並町高圓寺二六

學習院教授

吉田 徳治(孤羊) 東京市外目白鵜山一五〇六

一、改造社 二、岩手縣出身にて民謡蒐集

岩手史談會 岩手縣廳内

五〇

青森縣

森 林 助 弘前市西大工町二九

一、弘前中學校教諭 二、△陸奥の波岡御所・弘前藩小史と贈位者傳 ○三種の神器 三、陸奥史談會長

松 野 武 雄 同市杉森新町

津輕工藝史の研究、繪馬蒐集

中 村 良 之 進 同市龜甲町

一、農業 二、△西津輕郡大戸瀬村郷土史、南津輕石川町郷土史、同郡乳井昆沙堂由來記、中津輕郡藤代村郷土史、弘前市和徳城、平尾魯山翁、陸奥古碑集、陸奥考古等 三、陸奥考古會長、陸奥史談會副會長

小 井 川 潤 次 郎 八戸市糠塚字長者山

一、小學校教員 二、口碑、傳説、方言、民俗、郷土玩具、繪馬 △三戸郡誌の歌謠篇 三、八戸郷土研究會

橋 本 惣 松 東津輕郡今別村大川平小學校

二、方言研究

西 田 源 藏 東津輕郡油川町(青森市外)

一、商業、町長 二、△樺太開發論、樺太風土記、青森商業會議所沿革誌、青森市誌、青森縣誌、油川町誌、東津輕郡誌等 三、縣調

和 田 千 藏 師範學校博物館教室

動物學

佐 藤 耕 次 郎 南津輕郡黒石町(弘前市北三里)

一、商業 二、植物學、郷土史、郷土土俗 △淺瀬石川沿岸郷土史、中郷村趣味の郷土史 三、縣調、黒石山岳會

今 井 富 士 雄 同郡女鹿澤

奥 田 順 藏 北津輕郡内湯村

一、十三史談會長、縣調 二、安倍氏の研究

中 市 謙 三 上北郡野邊地町

外 崎 覺 東京市牛込區東横町二〇

一、宮内省諸陵寮 二、津輕信政傳、津輕信明傳、六十有一年、藩餘存稿、工藤他山傳、外の濱風、津輕承昭傳等 三、史談會、陸奥史談會

中 道 等 東京市外野方町新井四六八

二、東北地方舊藩時代に於ける文化潮流の實證的研究 △青森縣史、津輕舊事談、奥隅奇譚、陸奥の傳説 三、青森縣調、八戸郷土研究會、民俗藝術の會、横濱郷土史研究會、村落社會學會

齋 藤 吉 彦 東京市赤坂區一ツ木町六三

津輕弘前の出身、方言研究

津輕史談會 弘前市龜甲町中村良之進方

五一

七戸史蹟調査會 上北郡七戸町
八戸郷土研究會 三戸郡八戸町大字糠塚字長者山小井川方

山形縣

伊佐早謙 米澤市林泉寺町
五十嵐清藏 山形市外江俣
一、縣師範及女子師範學校教授囑託、縣調、縣教育會郷土博物館委員(歴史部主任)縣立圖書館顧問 二、
△山形縣史、東村山郡史、北村山郡史等 三、山形縣郷土研究會幹事
原寅一 鶴岡市家中新町
一、無職、市會議員 二、△致道館記(藩校)、鶴岡沿革史 三、莊内史談會
松田又彦 同市十三軒町九
東京人類學會員、秋田考古會員
佐藤豐治 最上郡豐里村
△豐里村誌
清野鐵臣 西田川郡温海村温海驛前
二、博物、郷土史、孝子慶玉資料 三、簡易博物館を村教育會の後援にて經營
天野義郎 東京市麻布區本村町一九九
山形縣出身

阿部正巳 飽海郡松嶺町内町三五(酒田町の東四里)
二、庄内に關する郷土史及び考古學 △出羽國分寺、遺址調査、酒田米の歴史、飛鳥村の一里塚、伊藤風
山傳等 ○小關三英傳、庄内史年表、庄内人名字彙、庄内藩要職年表等 三、縣調
佐藤良次 同郡酒田驛前
一、酒田新聞主筆 二、郷土歴史、美術方面 △小關三英小傳 三、飽海有恒會總務

秋田縣

羽川訥禪 秋田市手振谷地町大宮方
方言研究
安藤和風 同市橋山三枚橋
一、秋田魁新報社主筆 二、△秋田縣案内 ○秋田の名勝舊蹟と天然記念物 三、秋田史談會、秋田考古會
東山太三郎 同市中龜町保育園
奈良環之助 南秋田郡金足村小泉
一、郵便局長、産業組合理事、縣立農業學校講師 二、郷土に關する地理的研究、秋田縣に於ける土地制
度の研究、南秋田郡誌編纂 三、秋田考古會
武藤一郎 河邊郡豊岩村(秋田市の南二里)
一、農 二、考古學方面 三、秘田考古會、縣調
武藤鐵城 仙北郡角館町

△角館の歴史其他

細谷 則 理 平鹿郡横手町

深澤 多 市 横手町役場

大山 順 造 同町本町

柴田 良 一 同郡醍醐村

一、横手高等小學校 二、横手盆地の地理的景觀 △秋田縣の自然地理、横手町の地理 ○十年後の秋田
市、秋田市商工業發展策 三、秋田地理學會幹事

田口 謙 藏 大曲町

一、町長 二、民俗研究

安成 三 郎 東京府北多摩郡下保谷村二六七

佐々木 彦 一郎 東京市外品川町南品川宿七六二

秋田縣北部の舊事に通ず
地理學に詳し、秋田縣鹿角郡の民俗研究

秋田 史 談 會 秋田市圖書館内

角館 史 考 會 仙北郡角館町(史考刊行)

横手郷土史編纂會 平鹿郡横手町

秋田地理學會 横手町前郷

福井縣

勝山 千 百 里 福井市手寄上町

二、△福井市誌 三、明道會、保寧會、黎明會等
仙石 亮 同市毛矢町外城ノ橋向

一、鐵業技師、仁愛高等女學校教員、市聯合教育會長等 二、松平春岳、中根雪江、吉田東篁、橋本景岳
等福井市先輩の事蹟、特に井手曙寛の研究 三、輔仁會、黎明會、日本鐵業會、工學會等

森 恒 救 同市手寄中町四一

一、史蹟の今昔と當該地の傳説(特に南北朝時代の史蹟)足羽七城の資料 △加越能古今力士大鑑、郷土史
料雜誌「大南越」 三、福井縣勝山町囑託(町史編纂主任)

山 本 元 敦 賀 町

二、△福井縣敦賀郡誌、敦賀叢書、福井縣三方郡誌、大阪府東成郡誌、滋賀縣高島郡誌、水戸浪士始末、
模具のしをり、書畫鑑賞の葉、篆刻の葉等

高 嶋 正 大野郡下味見村折立(福井市より七里自動車)

一、農、私立圖書館高島文庫主、村長 二、郷土史、隠れたる偉人傳の調査 △吉田郡誌、大野郡誌、大
飯郡誌、福井縣史、福井縣人権太經營史、福井市政三十年史等 三、日本圖書館協會

山 田 秋 甫 丹生郡朝日村(鯖江町より二里)

一、前福井縣史編纂囑託 二、△芭蕉の若芽、丹生郡誌、越前國繪圖、淨勝寺丹山歌集、地租輕減と杉田
鶴山、平泉寺文書、丹生郡朝日村志等 ○平泉寺史要、福井縣讀史年表等 四、若越輔成會其他より表彰
牧野信之助 堺市向陽町七三
△滋賀縣誌、堺地誌

石川縣

日 置 謙 石川縣廳學務部縣史編纂部

和田文次郎 金澤市石坂角場八番丁七

氏家榮太郎 同市長町三番町二六

一、無職 二、舊藩時代に於ける上一般の風俗舊慣や故實の研究並に史蹟名所の調査、城址及各種の地
圖並古建造物の繪圖蒐集 △橋本舊慣の色々、金澤市街温知叢誌 三、加越能史談會

諏訪 藤馬 鹿島郡瀧尾村

△鹿島郡誌編纂者の一人

小田吉之丈 同郡高階村宇池崎二〇(七尾城址より一里半)

一、農、日々郷土史資料蒐集に握飯持參出張 二、農村思想問題に資するため史實を蒐集 △石川縣蠶業
沿革史、うぶ砂土筆、七尾城主畠山記、加賀藩農政史考、改作と精神的農業等 三、加越能史談會、保

山田長太 大聖寺町

△江沼史料編纂

清水沖一郎 東京市小石川區三軒町八前田子爵邸内

一、子爵前田利滿家扶 二、郷土たる加賀江沼郡の史的研究 △神谷内膳 三、石川縣立圖書館加越能圖
書調査會調査委員

加越能史談會 金澤市石坂角場八番丁七

同支部 能美郡小松郡宇吉町

富山縣

小柴直矩 富山市五福四〇六

一、富山育英社 二、地方史專攻 △越中勤王史、富山城址存廢の價值、富山藩合寺の顛末、富山賣藥發
達史、富山魚市場沿革、立山、黒部峡谷の史蹟傳説、富山藩社會制度、富山藩の消防、越中の傳説、富

山藩要改善地區等 三、縣調、郷土史研究會等

九里愛雄 下新川郡泊町(富山市の東北十二里)

一、郷社八幡宮社司 二、越中の歴史地理 △加藤謙二郎先生傳、宮崎定範卿傳、開拓者伊東彦四郎傳、
同椎名道三傳、三、神道學會、明治聖德記念學會、保、調、越中郷土史研究會

太田榮太郎 東京市外野方町上沼袋三一八

富山縣出身、方言研究 △富山市近在方言集

永山近彰 同市四谷區三光町三五

一、前田侯爵家主事 二、加賀藩史稿十六卷、柳下集三卷 三、維新史料編纂會

五八

鳥 取 縣

岩 成 案 輪(義實) 鳥取市栗谷町一八(城跡南方舊渡邊數馬宅隣)

一、元鳥取藩史編纂委員 二、鳥取藩史、古墳、地方著名人の墓に關する研究 △渡邊數馬 三、因伯史談會、吉川經家會

遠 藤 薰 同市藥師町二三

一、靜修高女事務理事、校長 二、女學校、圖書館、盲啞學校を創立

小 倉 春 市 同市御弓町四四

一、縣師範學校教諭 二、遺物より見たる鳥取縣(石器時代、古墳時代は調査済)の調査の爲に諸種資料の調査中 三、鳥取史談會

木 山 竹 治 岩美郡浦富町(鳥取の東五里)

一、鳥取第一中學校 二、縣下の史蹟名勝天然記念物 △松田道之、船上山史等

村 上 政 吉 氣高郡日置谷小學校

一、榊晴治郎 東伯郡倉吉町下田中

山 光 清 六 西伯郡淀江町

太 田 勝 友 同郡逢坂村(下市驛西十町)

一、神職、郷社逢坂八幡神社々司 二、郷土史殊に名和氏の研究 △般上山に編纂 三、縣調、鳥取縣郷

土調査委員

足 立 正 同郡上道村(境港より約十町)

一、境町長 二、目下鳥取縣郷土史並に米子市史の編纂中なり 三、同郡淀江町に山陰徴古館を創設し、

今遺物蒐集、縣調

峯 地 光 重 倉吉町大字巖城山

一、倉吉町上灘小學校長 二、郷土の民俗、傳説等 △國語教育に關するもの二三

橋 浦 泰 雄 東京市外中野町下沼袋一五八九

鳥取縣出身、全國旅行家

鳥 根 縣

後 藤 藏 四 郎 松江市鍛冶町四一

一、元松江中學等に奉職し理化學擔當 二、△出雲國風土記考證、出雲神話、出雲方言考 ○出雲神樂能

三、調、隱岐島の後醍醐天皇行在所に關して、黒木御所説力説

上 野 富 太 郎 同市外津田村四八四

一、松江中學校教諭 二、△鳥根縣史要 仁多郡志 ○松江市志、朝酌村志

野 津 左 馬 之 助(天籟) 八東郡持田村(松江市の東三十町)

一、縣廳學務課、鳥根縣史編纂委員、縣調 二、△松本巖傳、鳥根縣史第八卷迄出版、飯石郡誌、鹿足郡誌、美濃郡誌等 ○鳥根縣金石文集 三、明治聖德記念學會、八雲會

五九

横山清丸 同郡美保關美保神社宮司
青砥勝衛 美保關町
小林傳十 仁多郡八川村坂根
渡部冬詩 同郡三成村
小村力藏 篠川郡平田町字古川町
千代延尙壽 那賀郡波子
大島幾太郎 濱田町
眞野恒雄 一、綿商、縣方面委員 二、書契以前の東洋歴史、日本民族の成分 △石見家系録、那賀郡誌、石見湯
竹崎嘉通 海士郡菱浦隱岐畜産組合
恒松安夫 東京市麻布區材木町四三
湯淺啓溫 同市赤坂區青山高木町三(電青山三五七五)
東京市外西ヶ原農事試験場昆虫部
岡田建文 東京府王子町堀ノ内八〇〇
△靈怪談淵其他
島根縣史編纂係 島根縣廳内
大社町郷土研究會 篠川郡大社町
杵築協會 大社町役場内

岡山縣

森 敬三 岡山市國富一、一九(六高正門前)
一、第六高等學校及岡山高女高等科教授 二、幕末歌人の研究 △藤原忠朝の研究 ○平賀元義、加納諸
平、上田及淵、伊達千廣等の研究
妹尾 翠 (字は翁、號は微谷) 同市富田町一六(岡山驛東北五町)
一、著作業兼新聞記者 二、史學及社會學科專攻 △日本史蹟文庫十五卷、新釋徒然草、孟子辨妄篇、新
編岡山案内記、岡山商工業史、岡山縣名勝誌、岡山市史等 三、岡山市壯年會、岡山考古會、小田郡人
會等
早田 元道 同市七軒町二八
一、山陽新報社囑託 二、岡山縣郷土史研究 △史上の吉備、吉備史蹟 三、備後郷土史會及岡山日々新
聞社客員
桂 又三郎 同市門田屋敷九一
岡山文獻研究會幹事
嶋村知章 同市外東川原
石田憲吾 同市南方鐵道省官舎
渡邊頼母 同市南方
一、著述業 二、△兒島郡誌、同郷内誌、同田口誌、同下津井誌、池水の恵、藤本鐵石印影集、吉備文庫
倉敷淺尾騷動史、神世の吉備、吉備の金石史、泉中愛年譜、岡山縣教育史、吉備雅客名かと美等 四、
六一

永山 卯三郎 同市門田一四六

一、岡山縣師範學校 二、△岡山縣に於ける奈良朝時の礎石及古瓦研究上下、岡山縣に於ける條里制遺址の研究、早川代官、建國の大精神 ○岡山縣古墳志、同金石史、同古文書集、同碑碣文集、同古城趾研究等 三、縣調

矢吹 金一郎 (正己) 津山市南新座

一、前官公吏銀行重役今無職 二、新訂作陽誌八冊 津山温知會誌十五冊、作州土寇史、北條縣下騷擾記 美作古簡集註解三冊、松平文定公年譜三冊、宮本史蹟、作樂神社誌、貞孝母子之碑

野村 完六 同市北町八

一、津山高女 二、△歌集「彦」、水麩叢書歌集「夢花集」中の作者 (郷土歌人(作州の一般歌人、平賀元義及其の門下、道家大門) 三、短歌雜誌「水麩」の同人

荒木 誠一 赤磐郡太田村(萬富驛より北十五丁)

一、千種小學校訓導 二、△太田吉岡村誌編纂

玉谷 俊吉 同郡佐伯本村(和氣驛より北二里)

一、元小學校長、現在村長 二、郷土史、△赤磐郡誌、岡山縣誌、岡山縣小學校用農業教科書編纂

正宗 敦夫 和氣郡伊里村穗浪(岡山より東八里の海濱)

小林 久磨雄 上道郡宇野村濱(岡山より東五町)

一、岡山市鐘淵紡績會社支店勤務 二、△邑久郡誌、大日本勸業博覽會誌、岡山名勝と名物、伊部陶器考 岡山後樂園等、三、考古資料並に切手、印紙、各種レツテル、土俗に關する人形類を蒐集

中塚 一郎 淺口郡玉島町(市外男崎)

一、農業 二、△海嘯被災要録、淺口郡誌、玉島町の管轄沿革、勇崎村誌 三、町、郡、縣の農會等

佐藤 清明 同郡里庄村

花田 一重 同郡六條院村大字六條院中(山陽線鳴方驛南十町)

吉野 善介 上房郡高梁町

一、藥種商(前高梁中學囑託) 二、備中方面の植物研究 △備中植物誌

高田 馬治 高松農學校

溫古 會 岡山市石關町

岡山文献研究會 岡山市門田屋敷桂又三郎方

廣島縣

三井 大作 廣島市小町淺野圖書館

一、淺野圖書館長代理、縣調 二、△廣島市史六冊、廣島市政三十年史、南濱餘影、竹處遺法

- 東 條 操 同市大手町八ノ九〇
△方言採集手帖、國語の方言區劃
阪 本 園 同市新川場町
一、淺野侯爵家々從、泉邸に出勤 二、舊記係主任として淺野家歴代の事蹟及藩政等の調査編纂
吉 原 晴 景 尾道市外向島(尾道驛の南十二丁)
一、縣社八幡神社々司 二、内海史研究、向島郷土史、内海神祇史
宮 地 三 保 松 同市土堂町
一、藥種商 二、古文書、古錢、刀劍、古器物等 △尾道市街圖誌 三、備後郷土史會
小 林 國 治 郎 福山市外草戸村
一、福山高女 二、餘力を社會教育に 三、備後史談會
高 垣 敏 男 同市三之丸町
一、無職 二、△備後神邊市街地圖、カウガン(高巖)集、得能養兎翁 三、月刊備後史談發行
濱 本 清 一(鶴賀) 同市延廣町二六〇
一、福山市史編纂主任 二、△吉備高島考、備南の名勝、福山の今昔、沼隈郡誌、田尻村誌、福山地方名
勝交通繪圖 ○福水山書誌、福山開祖水野勝成傳 三、備後郷土史會理事、機關雜誌「備後史談」編輯
四、東京春陽堂より「支那情愛文獻」及び「支那歴代後宮秘史」發行
逸 見 敏 刀 賀茂郡西條町
沖 田 實 御調郡三原小學校
藤 田 久 吾 同郡向島村

- 湯 川 大三郎 沼隈郡赤坂村(朝より北三里)
一、教員 二、郷土史 △沼隈郡誌、鞆津と阿伏兎 三、備後郷土史會、沼隈郡先愛會
島 眞 谷 三 深安郡山野村(福山市北七里)
一、同郡加茂村小學校長 二、山野村郷土誌、加茂村史等 三、備後郷土史會、山野村郷土保存會
水 田 喬 一 同郡山野村
一、農、養鵜を兼ね 二、山野村郷土史の研究 三、備後郷土史會員、山野村郷土保存會
湯 出 原 太 一 同郡神邊町(福山市より北一里)
一、神邊町歸區長 二、詩文、和歌、書道
得 能 正 通 廣品郡府中町大字府中五二五ノ一(福山市西北五里)
一、廣島縣器械製絲同業組合理事 二、明治二十三年以來養兎の宣傳と併せて郷土史研究 △湯野村誌、
松永村誌、養兎眞論、大日本養兎史、備後商工史、獨立自治日本人民、備後叢書及び月刊「備後史談」の
刊行
中 戸 千葉之進 同郡廣谷村
高 田 雄 信 同郡宜山村
一、栗生小學校教員 二、傳説郷土史、郷土の風俗 三、備後史談會
増 田 住 藏 雙三郡三良坂町七四七(尾道の北十四里)
一、三良坂郵便局長 二、縣下各郡市の地理歴史及び人物傳、書畫、記録等
眞 川 鶴 松 本郷區駒込西片町一〇

史、同補遺、徳山藩先賢遺稿(徳山藩近代史) 實氏經濟論問題集 ○徳山藩歴史 三、都濃郡教育會、筑紫史談會、郷土史研究會、温知會等
米 光 長 三 郎 吉敷郡陶村(小郡驛東一里)
一、地主 二、地方行政史、古錢史 △周防鑄錢司史 ○地方行政史

維新 山口市教育博物館
防長考古會 同上

和歌山縣

田 中 敬 忠 和歌山市新大工町一八
山口 藤 次 郎(華城) 同市下町四三
一、製藥、製菓業 二、△紀州人物傳記集成、紀州名家著述目録、紀伊名所舊蹟と古人之遺詠等 三、紀伊史蹟探究會、紀伊史談會、紀伊趣味會
西 瀨 英 一 同市八番町
一、大阪毎日新聞社支局 二、紀州の人物史、古美術、詩歌、民謡、經濟史、傳説等
多 紀 仁 之 助 同市北河岸丁目一(和歌浦へ一里)
一、和歌山中學校教諭 二、國漢文方面 △南海先生後集、紀伊國名勝地誌 三、和歌山市神職會 漢文講義會

片山 竹 之 助 那賀郡安樂川村(和歌山の東四里)
一、縣立圖書館司書 二、○通俗字源解、安樂川村郷土誌

井村 米 太 郎 伊都郡高野山
一、高野山靈寶館顧問、縣調 二、高野山史 △高野のしをり、秀次公

水 原 堯 榮 高野山親王院
二、高野板、邪教立川流、高野山金石圖誌、女性と高野山、高野の傳説、密教板畫集成、弘法大師影像考

中 西 英 雄 有田郡田殿村(和歌山市)
一、農業 二、△紀州有田柑橋發達史、柑橋販賣改善の策 三、田殿村農會總代等

中 根 七 郎 東牟婁郡古座町(潮岬の北三里)
一、前郡書記及町助役 二、地方誌

田 原 慶 吉 同郡宇久井村(新宮町の南二里)
一、著述業 二、紀州熊野の歴史地理研究 △紀伊東牟婁郡誌上下、紀伊南牟婁郡史上下、紀伊東牟婁郡

森 彦 太 郎 同郡古座町中湊三九七
一、熊野實科高女及び古座商業學校校長 二、先史時代、原始時代の遺蹟遺物、郷土文藝、方言訛語、紀州

逸 木 盛 照 粉 河 町
文獻書(未刊史誌類)刊行の計畫 △紀伊日高郡誌、南紀土俗資料、紀州文化讀本等 三、縣調

前 川 眞 澄 新宮町

- 庄司 海村 同町一四三三
一、著述業 二、地方民謡舞踊、△三熊野詣で、故郷を顧みて、古座川、南遊志等
小野 芳彦 同町
一、前新宮中學校勤務 二、郷土史研究、舊新宮藩主水野家系譜編集 中 △熊野小史 三、紀伊教育會、南葵育英會等
永廣 柴雪 同町熊野新報社内
一、新聞記者 二、二十餘年間地方の隠れたる歴史傳説を發表
雜賀 貞次郎 田邊町
一、新聞記者 二、△牟婁口碑集、田邊方言
南方 熊楠 同町中屋敷町三六
四年來妻と二子と病氣の爲め生物學の外は一切廢止 △正續南方隨筆
笠松 彬雄 滋賀縣八日市中學校
△紀州有田民俗誌
宇井 縫藏 大阪市外岡町
一、關西高等工學校及關西工學校教務主任 二、博物學 △紀州魚譜、紀州植物誌 三、大阪植物同好會
四、和歌山縣田邊町の出身、十數年苦心蒐集せる紀州產魚類標品の全部は和歌山縣瀬戸鈴山村なる京都大學臨海研究所に寄贈
喜多 村進 市外世田ヶ谷太子堂本村一〇七
一、南葵音樂圖書館堂書長 二、郷國紀州郷土史のこと △熊野牛王、紀州藩版本についての發表及び小

說二三

- 熊野研究會 和歌山縣東牟婁郡新宮町
根來史編輯局 那賀郡根來村西坂本
郷土研究會 東牟婁郡新宮町
「紀伊史料」 和歌山市屋形町一五上野山寅雄方
「熊野趣味研究」 西牟婁郡田邊町西新町上中方
「熊野の研究」 東牟婁郡宇久井村田原慶吉方
「高野山パンフレット」 高野山親王院水原榮榮方

德島縣

- 田所 市太 德島市東富田
△名取郡志、三好郡志、勝浦郡志、川田町史、山瀬町史、御所村誌、大山村史、藍園村史、應神村史、川西村史、羽浦町史等
坂本 章三 同市東富田
光慶圖書館長
近澤 辰郎 同市佐古町
一、縣立商業學校 二、國府町資料、山城谷村史

井 上

一、同市福島町

浪 花

一、德島毎日新聞主筆 二、德島案内

前 田

一、鐵道現業従事員 二、古瓦 三、德島人類學會 四、古瓦及經荷發見多し

會

一、請負業、工兵中尉、方面委員 二、人類、考古、歴史、地史、地形、名勝、山岳等 三、德島人類學

森

一、敬 介 同市大工町一四

小 出

一、教員 二、考古學、礦物學 三、德島人類學會

小 川

一、德島中學校教諭兼附屬圖書館長 二、△先哲小傳、小出長十郎傳、峻徳公傳、阿波國に於ける切支丹

川 上

一、新聞記者 二、先史考古學、歴史考古學、人類文化史、目下板錄郡川内村史編纂 三、德島人類學會、國文學會講演所

田 村

一、德島日々新報社取締役 二、阿波郡史、阿波に於ける新田氏等

橋 本

一、本縣廳 二、入田村誌、齊津村誌

中 西

一、同郡下八萬村

縣立商業學校

一、同郡下八萬村

島 田

一、同郡長生村(小松島港の南三里)

佐 藤

一、神官 二、突喰村誌

吉 田

一、考古學、麻植郡誌、美馬郡誌、海部郡誌、德島縣誌

笠 井

一、著述業 二、德島縣の郷土研究、地理學、△德島縣誌、海部郡誌、麻植郡誌其他 三、なし

橋 本

一、同郡川西村

宮 田

一、同郡堀江村(鳴門の西二里)

小 學

一、同郡堀江村(鳴門の西二里)

教 員

一、同郡堀江村(鳴門の西二里)

板 野

一、同郡堀江村(鳴門の西二里)

同 郡

一、同郡堀江村(鳴門の西二里)

堀 江

一、同郡堀江村(鳴門の西二里)

同 郡

一、同郡堀江村(鳴門の西二里)

堀 江

一、同郡堀江村(鳴門の西二里)

堀 江

一、同郡堀江村(鳴門の西二里)

堀 江

一、同郡堀江村(鳴門の西二里)

堀 江

一、同郡堀江村(鳴門の西二里)

堀 江

一、同郡堀江村(鳴門の西二里)

堀 江

一、同郡堀江村(鳴門の西二里)

堀 江

一、同郡堀江村(鳴門の西二里)

堀 江

一、同郡堀江村(鳴門の西二里)

一、淡路銀行出張所主任兼農 二、郷土の考古學的方面、主として古墳の研究 △堀江莊史、三、徳島人
類學會

七四

堀 井 一 平 同郡撫養町齋田(鳴門の南岸)

一、成徳女學校教員 二、郷土の文化史的研究

岡 崎 信 夫 板野郡瀬戸町(撫養の北一里半)

一、社會事業、同町鳴門阿波井島保養院 二、△板野郡誌、大津、松茂、松島、鳴戸、各村誌、鳴戸郷、
理髮考、松茂史蹟、松茂風俗誌、阿北土俗資料、かつらとかれい(祖谷と瀬瀧案内) 郷社阿波井神社
志

近 藤 有 地 藏(霞山) 阿波郡市場町大字宅開

一、農 二、△阿波郡誌 市場町誌、土成村誌

天 羽 豹 太 郎 麻植郡手島村

近世史

原 田 武 一 郎 同郡川田村

石 原 六 郎 同郡西尾村(徳島市の西五里)

一、山林業 二、郷土志、考古學 三、郷土志研究を本位とせる單獨自己經營の私立吳郷文庫あり

田 村 左 源 太 三好郡佐馬地村

小學教員

笠 井 新 也 美馬郡脇町(徳島市の西十里)

一、脇町中學校教諭 二、考古學、傳説學 △阿波の狸の話 △阿波傳説集 三、東京人類學會、考古學會
西 内 瀧 三 郎 同郡一字村(貞光驛より南四里)

一、村役場 二、短歌、俳句 △一字村誌、一字村軍人分會歴史 三、一字村産業組合理事等

香 川 縣

津 田 壽 盛 丸龜市中府五八二(琴平より北三里)

一、丸龜市役所、丸龜市會書記(主任) 二、讃岐の佳人井上通女傳等 三、丸龜史談會

岡 田 唯 吉 坂出町

一、坂出町鎌田共濟會郷土博物館主事兼同調査部主事 二、香川縣郷土史料研究調査 三、縣調

會 川 壽 吉 坂出女子師範學校

二、△三豐郡史、讃岐通史、讃岐歴史地圖

川 錦 正 雄 小豆島郡坂手村

慶應大學々生 △小豆島誌

丸 龜 史 談 會 丸龜市役所内
鎌田共濟會郷土館 綾歌郡坂出町

愛 媛 縣

西園寺源秀 松山市北京町

七六

一、伊豫史談會幹事 二、△松山史要、伊豫古文書五十冊、伊豫金石文三冊、伊豫傳說二十冊、伊豫誌料七十冊、伊豫人物傳三十三冊、伊豫書籍要集十四冊、伊豫百姓一揆十三冊、伊豫系譜二十七冊、伊豫の社寺二十五冊、富水隨感錄二十五冊、其他二百冊 三、伊豫史談會、松山漢書會 四、短冊及古札蒐集古書畫、腰折

菅 菊太 郎 同市持田四

一、松山農業學校 二、郷土に於ける農功傳、舊藩時代の農政、郷土のホノギ、古農書郷約舊記類 三、伊豫史談會、松山讀書會

景 浦 直 孝(稚桃) 同市北夷子町七二(道後温泉の西南八丁)

一、北豫中學校教諭 二、△伊豫史精義、伊豫史料の研究、土居得能勤王史、享保の蝗害と義農作兵衛、大松山と道後、愛媛唱歌、愛媛縣案内等、愛媛縣誌稿(共同編纂) 三、伊豫史談會幹事

會 我 部 一 郎(松亭) 同市小栗(字室)一六

一、伊豫史談會幹事、伊豫編年史編纂委員 二、郷土松山、日本の國學者歌人 ○松山諸家人物誌、松山諸家墓田錄、松山年譜、松山藩札資料、日本國學者奇人小傳 三、伊豫史談會、懷舊社幹事

玉 田 榮 二 郎 今治市城山通り

一、今治中學校教諭 二、郷土史の徹底的各方面の研究 △今治市越智郡郷土史要 三、今治史談會幹事 今治市教育部會幹事 四、近時考古會に力を注ぐ

兵 頭 賢 一 宇和島市神田川原

一、伊達圖書館主事、南豫文化協會 二、元和以後の郷土誌、特に文化以後 △宇和島吉田兩藩誌、南豫

菊 池 薰 同市元結掛二〇〇

一、宇和島市役所 二、郷土史 三、宇和島史談會幹事

平 田 和 三 郎 宇和島並松宇和島市の南端二十間

一、宇和島中學校 二、宇和島地方の史實等 三、宇和島史談會 四、數學史等

仙 波 衡 輔 温泉郡河野村

一、銀行員 二、郷土史 三、伊豫史談會

小 笠 原 觀 念 越智郡清水村大字中寺(玉川の温泉)

一、石土大木山中寺住職、大日本心身修練會長、伊豫府中史談會長 二、伊豫國府を中心とする郷土研究(ハイマートクンデー) ○伊豫國府、越智郡郷土誌 三、乃萬史談會、朝倉史談會、今治史談會、宇摩史談會

高 橋 彦 之 丞 新居郡西條町

一、西條公民學校校長 二、東豫に於ける郷土史 三、西條史談會幹事、月刊「東豫史談」編輯、前に新居濱町郷土研究編輯

横 田 傳 松(春南) 喜多郡大川村藏川(大洲町の東南三里)

一、家は農、自分は研究 二、國史及郷土の研究、方言、訛言等 △大洲名所舊蹟案内圖 喜多郡誌、京都の名蹟、少彦名命の靈蹟 三、伊豫史談會、大洲史談會 四、昭和三年五月、喜多郡神南山に於てメンヒル、ストーンサークル等の巨石遺跡を發見

土 居 雅 一 郎 西宇和郡川之石町(八幡濱町の北一里)

七七

一、八伊川巡航部 三、伊豫史談會、川之石町郷土誌編集、西宇和郡支會
豐川 英吉 北宇和郡吉田町(宇和島の北二里)
一、吉田中學校 三、伊豫史談會
長山 源雄 同郡吉田町本町(宇和島市北二里半)
一、山林の經營(大分縣にて) 二、郷土に於ける歴史、地理、考古學、民俗學 ○古代伊豫の研究 三、考古學會、人類學會、史前學會、考古學研究會、民俗學會、伊豫史談會、直入史談會(大分縣)
村田 吉右衛門 八幡濱新町
一、西宇和郡社會事業協會主事 二、一般社會教育並に社會事業に従事、最近丙午の研究を柳澤統計研究所季報第二十四號に發表 三、西宇和郡町村長會幹事、西宇和郡史談會
足達 儀國 大洲町外椎之森(大洲中學校南二丁)
一、大洲銀行重役、喜多郡自治協會理事 二、舊大洲藩及新谷藩領域内の史實、偉人名士の事蹟、名所舊跡天然記念物等に關する調査、研究等 三、喜多郡自治協會、喜多郡教育會、善隣會支部、大洲史談會等
伊豫史談會 松山市北京町西園寺源透方
同 周桑支部 周桑郡小松町
今治史談會 今治市立明德圖書館
西宇和史談會 西宇和郡八幡濱町
大洲史談會 喜多郡大洲町

宇和島史談會 宇和島市
府中史談會 越智郡清水村
松山讀書會 松山市二番町教育圖書館内
「郷土研究」 新居郡新濱町高橋彦之丞方、月刊發行

高知縣

松山 秀美 高知市小高坂二〇
一、活版印刷業、市名譽參事會會員、土佐史談會副會長兼理事 二、鹿持雅澄に關する研究並に土佐歌人の研究、土佐維新勤王史 三、經濟史研究會、考古學會、龍馬會
坂本 久壽 同市小高坂東町
二、舊藩制度、特に山林及土地の制度に關する方面の傍ら格式階級に關し所見發表
寺石 正路 同市南新町四四
一、土佐史談會長、縣調 二、人種學、土俗學、郷土史 △食人風俗志、維新土佐歴史、土佐名勝志、畫入中山高陽、土佐風俗と傳説、土佐郷土民俗、南國遺事、中濱萬治郎漂流談等 三、土佐史談會
武市 佐市郎 同市北新町四ノ三
一、縣調、土佐史談會理事 二、歴史、地理、考古、山内氏時代史初稿其他編纂 四、目下上代文化資料調査中
小關 豐吉 同市小高坂越前町

八〇
一、縣立圖書館事務囑託、女子師範囑託、二、法規を通じて見たる藩政時代の諸相 △野中兼山 三、土佐史談會

吉 永 虎 馬 同市小高坂西町

一、高知高等學校講師 二、植學物 三、縣調

島 崎 正 勝 保多郡中村町

上 岡 保 次 郎 同郡同町

松 好 貞 夫 兵庫縣武庫郡今津町字西中畑七八三

一、大阪市囑託、市役所市史編纂室 二、土佐藩經濟史、但し徳川時代の土地經濟史 三、京都經濟史研究會、經濟史研究會、土佐史談會 四、目下「明治大正大阪市史」編纂中

中 平 悅 磨 東京市本郷區富士前町六四

高知縣幡多郡出身、舊事に詳し

土佐史談會 高知市帶屋町(土佐史談刊行)
南國史談會 幡多郡中村町

福岡縣

三 松 莊 一 福岡市島飼前田

△野村澤東尼、仙崖和尚、九州萬葉地理考 ○九州神社の研究、島飼村の研究

武 谷 水 城 同市庄町

一、陸軍々醫監(在郷) 二、〇大野築城の起因及遺址、日本最初の外國人居留地と筑前宮崎、筑前國分寺

同國分尼寺址、前朝倉の三聖蹟、元寇殲滅の地は筑前今津に非ず、日本最初の築城の一據城と其遺址等

三、筑紫史談會幹事長、福岡市史編纂顧問等

木 下 讚 太 郎 同市荒戸町

島 田 寅 次 郎 同市地行東町

二、各地方の史蹟一般 三、縣調、文保

中、山 平 次 郎 同市荒戸町二三〇

一、九州帝大教授 二、北九州方面の金石併用時代の研究 三、考古學、其他

黒 岩 萬 次 郎 久留米市東町九一

一、久留米高女教諭 二、筑後郷土史の研究、各地方言の比較研究 三、筑後史談會

山 田 淳 實 門司市大久保越東紅園

二、方言研究

宮 武 省 三 小倉市上富野

渡 邊 村 男(筑川) 山門郡城内村大字袋町

一、柳河史談會幹事 二、△明治戊辰役柳河藩東征始末、耶馬臺國探見記、碧蹄館大戦記、柳河傳習館沿革史等 ○懷良親王墳墓考、柳河城の沿革、柳河年鑑(神代より現代まで)山門郡志五十二冊等、編纂せしもの五六十種

岡 茂 政 同郡柳河町字小道具町

一、福岡縣中學傳習館教諭、縣調、伯爵立花家藩史編纂囑託、同家對山文庫主任 二、〇柳河藩史 三、柳河史談會幹事等

田中儀三郎 三池郡三川村渡瀬渡瀬驛より五丁

川口孫治郎 二、古墳及郡内郷土史 三、三池郡史談會

鳥類學專攻 福岡縣中學明善學校

山本通 田川郡後藤寺町

一、田川高女教諭 二、田川郡郷土研究

筑紫史談會 福岡市庄町武谷水城方(筑紫史談刊行)

筑後史談會 久留米市黒岩萬次郎方

大分縣

本莊昇(鳴鼓) 大分市大字大分城崎町

一、新聞記者 二、古墳、摩崖石佛、佛教に關する史蹟其他 三、縣調、九大史談會、大分縣史蹟研究會幹事

安部貞次郎 同市大字豊饒三〇九

二、郷土史跡の顯彰 三、大分縣史蹟研究會

赤松文二郎(翠陰) 中津市金谷(耶馬溪の北三里)

一、中津中學校教諭 二、郷土史、殊に藩制時代の行政、教育、經濟の方面 △下毛郡誌、扇城遺聞、後湖閣雜俎、扇城碑文集 三、中津小濱圖書館理事、扇城吟社 四、大分縣碑誌編輯の準備中

志手環 連見郡中山香村(別府市より北五里中山香驛)

一、著述業 二、土俗、言語學、社會學方面より見た日本古代史 △山香郷土史、豊後連見郡史 〇八幡大菩薩考 三、早稻田大學印度學會、日本社會學會

菅今朝次 同郡日出町

一、日出裁縫女學校設立者にして主事兼教員 二、大神村の舊家堀氏の出

工藤覺次 同郡八坂村(杵築より西一里)

二、郷土史の研究 △八坂村郷土史、豊國年表、杵築志、豊後風土記と弘安圖田帳 三、縣調

武石繁次 日田郡日田町

一、商業 二、△郷土の農民騷擾史、郷土の郷土史 三、三隈座談會、日高商工會、日田雜誌社

千原豐太 同郡同町庄手龜山公園下

一、神職、日田雜誌社代表 二、郷土史的研究 △三隈鈔、日田案内記、南筑、豊西、旅行案内 三、縣神職會、縣史蹟研究會、三隈座談會

古後餘慶(敬太) 同郡三好大原山麓

二、玖珠日田郷土史研究、豊國地誌史蹟研究史料蒐集中

小野精一(龍膽) 宇佐郡八幡村(宇佐八幡宮北一里)

一、宇佐中學校教諭 二、△御許山勘王記、郷土先輩傳、郷土年鑑、中島氏文、御許騷動記、宇佐郡史、野本白岩遺芳、宇原文書、大宇佐郡史論 三、宇佐郡郷土史談會主幹、大分縣史蹟研究會幹事 四、古文書八集編纂の準備中

日 名 子 實 三 池袋三八七

大分縣臼杵郡出身、郷里の事に詳し

長 山 源 雄 愛媛縣吉田町

二、大分縣直入郡の民俗

久多羅木儀一郎 臼杵町

一、臼杵中學校 二、△高田村志、大分縣六大偉人綜合年譜、脇蘭室全集 三、縣調

秋月 左 都 夫 東京府荏原郡世田ヶ谷町一一〇五

三、學士會、東京俱樂部等 四、日向國兒湯郡出身

佐 賀 縣

蒲 原 虎 造 佐賀市肥前日々新聞社

石 井 良 一 杵島郡武雄町(武雄温泉所在地)

一、農業、北海道留萌鐵道株式會社專務取締役 二、△武雄郷土史編纂中、武雄名勝 三、縣調、佐賀縣社會事業協會、小作調停委員

佐 藤 林 賀 東松浦郡唐津町

永田 佐 次郎 藤津郡鹿島町

川 原 敏 藏 同郡同町鍋島邸内

田 邊 新之助 神奈川縣鎌倉町亂橋材木座飛池中通一四六三

肥 前 史 談 會 佐賀市圖書館(月刊雜誌發行)

熊 本 縣

宇 野 東 風 熊本市本山町八

一、細川侯爵家々記編纂囑託 二、細川家舊記の調査編纂中、傍ら歌道研究 △征西將軍懷良親王傳、細川靈應公、堀大夫事跡、御小袖塚考、肥後史料、雪菊池氏之宛等、外に肥後文獻叢書編纂 三、國風會及心種會の主幹

宮 崎 奈 良 治 同市藥園町四〇

一、熊本農業學校教諭、農業補習學校教員養成所囑託 二、肥後の治水、土木事業の研究 △御贈位の恩典に浴せる球磨の二偉人 三、林、高橋兩翁頌德碑建設會

平 野 乍(流香) 同市外田迎村

△肥後史談

石 原 醜 男 同市黒髪町 櫻山

熊本縣舊史

土肥

實雄

球磨郡上村西別府湯前線免田驛より十八町

八六

一、農二、農村經濟、鹿兒島灣口より臺灣に至る各島嶼の風物土俗言語には多大の興味を覺え十四五年
前各島を巡遊せり 三、球磨史談會

淵田

卯三郎(禹山) 同郡人吉下青井町(人吉驛より西南三丁)

一、測量 二、球磨郡郷土史全史、子爵相良家の史料編纂囑託 三、球磨史談會(機關誌)郷土研究に研
究發表 四、右同人は西小太郎、柳瀬入吉、土肥實雄、富士谷證道

青木

秀穂 天草郡一町田村久留(本渡町より南八里)

元田

重雄 同郡本渡町

一、九州新聞社及大阪朝日新聞社通信員 二、寛政十八年天草が天領となりし以後の歴史、就中民政に關
する方面研究 △天草案内

佐藤

猛夫 豊後佐伯下鐵砲町花井寓

昔話の研究

小山

勝清 東京府井荻町上井草一、三七九

球磨郡出身 △我村の近世史

角田

政治 一、熊本市鎮西中學校 二△阿蘇山の地學的研究、熊本縣誌、大日本地理集成等

天草史談會

天草郡本渡町

宮崎縣

日野

巖 宮崎市神宮町六八八(神宮東横)

山之

城民平 二、△動物妖怪談 南那珂郡肥田町

中瀬

一、豫備陸軍一等主計正 二、肥田藩近代史(特に維新前後の事情) 郷土先人の事蹟 三、郷土史談會
桑弓野郵便局

瀬之口

傳九郎 肥田町

安井

小太郎 東京市外下落合八五五

一、東京高師講師 二、郷里日向國宮崎郡南那珂郡のこと 三、斯文會其他

鹿兒島縣

川村

俊秀(中哉) 鹿兒島市平の町七八

池田

米男 同市清水町一四九

一、鹿兒島新聞記者 二、薩藩古今の人物傳、古來の風俗傳説考、藩政時代に於ける藥草園の遺址、各地
史蹟等 三、縣調常任委員、鹿兒島史談會委員 四、市立教育參考館囑託、尙古集成館囑託

八七

井上良吉 同市新照院町六〇

八八

一、公爵島津家磯邸員、尙古集成館囑託 二、薩藩に於ける繪畫史及び陶磁器 △薩藩畫人傳 三、鹿兒島城鑑畫會、鹿兒島史談會

伊地知茂七 同市藥師町二八三

縣立第一鹿兒島中學校

梶原仲吉 薩摩郡飯島里

永井龍一 大島郡名瀬町

大島諸島寶列島の生活事情調査

坂田長愛 東京府荏原町洗足池の東方清水亭

一、前に公爵島津家編輯所勤務 二、薩摩及琉球との關係

正宗嚴敬 小石川區原町一六鹽谷方

鹿兒島縣出身、植物學及び屋久島研究

鯨島松下 種子島西之表小牧

岩切登 東京府世田ヶ谷町太子堂二八六

奄美大島龍郷村出身

昇直隆(曙夢) 神奈川縣鎌倉町稻村ヶ崎五二七

奄美大島寶久村出身 △奄美大島と大西郷

郷土史料調査委員會 鹿兒島縣廳學務部内

沖繩縣

眞境名安興 那覇市上泉町三ノ六

一、沖繩縣立圖書館長 二、主として琉球史並に歌謡、民謡、土俗、言語、△沖繩二千年史、琉球之偉人

沖繩女性史 ○琉歌大觀、沖繩現代史、沖繩土木史、異樣琉球傳 三、南島研究會

黒田理平 那覇市

一、琉球燒製造及模様付 二、沖繩の風習

太田朝敷 首里市長 琉球新報社長

島袋盛敏 同市大中町二ノ二

縣立第二高女

喜舍場永珣 八重山島

△八重山島民誌

岩崎卓爾 石垣島測候所長

△ひるぎの二葉

島袋源一郎 名護町小學校長

△國頭郡誌

伊波普猷 東京市小石川區戸崎町十二(植物園附近)

一、千代田女子專門學校及び帝國女子專門學校講師 二、琉球語、特におもろの研究、方言及び土俗、△

古琉球、古琉球の政治、おもろさうし選釋、校訂おもろさうし、琉球古今記、孤島苦の琉球史、校註琉

八九

九〇
球戯曲集、沖縄女性史、琉球語便覧等 三、南島談話會、方言學談話會、音聲學會、民俗學會民俗藝術の會等

東恩納寛惇 同市小石川區茗荷谷町九〇

一、東京府立高等學校教授 二、△沖縄島誌、大日本地名辭典琉球の部

魚住惇吉 同市小石川區戸崎町十二鈴木方

金城朝永 同市麹町區九段下大橋圖書館

鎌倉芳太郎 同市下谷區谷中町九東臺館

沖縄藝術の研究

山内盛彬 同市深川區海邊町六二

一、京橋高等小學校 二、琉球音樂

宮良當莊 同市外世田ヶ谷上町二〇〇

一、宮内省圖書寮勤務 二、△南島探訪語彙稿、沖縄の人形芝居、八重山語彙 四、八重山島出身

仲宗根源和 同市外淀橋町柏木三八六紡方方

二、沖縄研究

比嘉春潮 同市外同町柏木四三三

島袋源七 同市外荏原町中延四六一

△山原の土俗

南島研究會 島袋氏宅

南島談話會 東京市小石川區茗荷谷町 郷土研究社内

樺太

戸田桑治郎 樺太豊原町

一、豊原高等女學校教諭 二、樺太に於ける考古並に史料研究 三、歴史漫談會

菱沼右一 樺太豊原町

アイヌ語と地名

臺灣

山中樵 臺北市大正町二丁目二二

一、臺灣總督府圖書館長 二、もと宮城、新潟兩縣に在りて舊事に通ず

朝鮮

今村 朝 京城南米倉町二〇五

朝鮮研究 △歴史民俗朝鮮漫談

金 素 雲

東京市外馬込町谷中一〇八八

石 川 義 一

朝鮮民謡集

同市外武藏野町境七五

村 田 懋 磨

朝鮮民謡調査

同市外高田老松町七

朝鮮各地の徒歩旅行による研究 △朝鮮の生活と文化

一般之部

小 泉 鐵

東京市神田區駿河臺鈴木町一七駿臺莊

石 倉 翠 葉

二、村落共同生活體の研究 三、民俗學會
同市小石川區關口町一六五

沼 田 賴 輔

一、著述業(舊茨城縣笠間藩主牧野家史編輯賜託) △櫻川事蹟考、北村季吟傳、各宗本山名所圖會十卷、
官國幣社圖會其他六十餘種 三、笠間郷友會委員兼編輯主任、櫻川保勝會
同市同區原町一一九

守 三、東京人類學會、東京考古學會、集古會、武藏野會、日本歴史地理學會、模社等

石 黒 忠 篤

一、山内侯爵邸家史編輯主任 二、國史、考古學、系譜學、古文書學、紋章學 △日本紋章學、大岡越前
同市牛込區揚場町一七

農林省農務局長

中 島 利 一 郎

同市赤坂區福吉町一黒田侯爵邸内

三 村 清 三 郎

一、臨時帝室編修局 二、筑前筑後を中心とする九州史、武藏野並に關東に關するもの △菅原道真言行
録、那大津より太宰府へ 三、(武藏野會、武藏野編輯主任) 四、郷里は福岡縣
同市同區青山町六ノ二六

八 田 三 郎

一、北海道帝國大學名譽教授 二、アイヌ族一般、動物學、發生學、動物地理學等 三、王立ベルギー生、
物學會名譽會員、王立ベルギー動物學會名譽會員、日本動物學會、札幌農林學會等 四、蝦夷文書の蒐
集中
同市外世田谷町代田七一一八

辻 村 太 郎

一、東京帝國大學助教授(理學部地理學教室) 二、地理學
同市本郷區彌生町三

宮 本 勢 助

二、「日本民間服飾の研究」民間——郷土——に於ける衣服裝飾のすべて、即ち着物、袖無しなどの衣類、
モンペ・カルサンなどの山袴、ハミギ・キヤハン・ワラシなど履物、其他蓑笠などの品々、これを
着裝した農漁工商の姿、更にそれらの一群の狀態、其地理的分布、差違其他萬般の民間服飾現象を對象
とする ○山袴誌 三、民俗學會
同市外大井町四五〇三

白 柳 秀 湖

二、經濟史に關する著多し ○東北及東日本の經濟史的研究

樋 烟 雪 湖(正太郎) 同市外大井町水神下二、一五(東海道鈴ヶ森へ四丁)

一、著述と繪畫 二、日本交通史の研究 △信濃全圖、滿洲畫韻、交通風俗、日本交通史(經濟大辭書に收む) ○徳川時代交通文化、日本切手史論 三、通信協會名譽會員、歴史地理學會、文保、史學會、史前學會等

折 口 信 夫 同市外大井町五〇五二

一、慶應義塾大學教授、國學院大學講師 二、國文學及び民俗學 △古代研究其他 三、國學院大學郷土研究會指導人、民俗學會、民俗藝術の會

中 田 千 畝 同市外大森町新井宿五九四

一、報知新聞社編輯局 二、神話、傳説、民俗、童話等 △アイヌ神話、日本童話の新研究、浦島と羽衣和尚と小僧、桃太郎鬼ヶ島征伐等 五、日本童話協會、桃太郎會等

熊 谷 辰 治 郎 荏原郡碑衾町大岡山二四

一、大日本聯合青年團調查編輯部 二、若者の舊慣 三、村落社會學會幹事

高 野 辰 之 同市外代々木山谷一六七

△日本歌謡史、日本演劇の研究其他

尾 佐 竹 猛 同市外千駄谷四七〇(おまん板附近)

一、大審院 二、最近に「趣味と嗜好」の中に「鴉の研究」の一文を草しました

橋 井 清 五 郎 東京府荏原郡駒澤町上馬一、二〇四

一、宮内省圖書寮 二、圖書及圖書館、玩具及一般風俗土俗に關する研究 三、日本圖書館協會理事、紀州史談會、文保評議員

渡 邊 庸 一 郎 同市外代々幡町代々木上原一、一九一

一、東京帝國大學農學部農業經濟學教室 二、農史及農村社會學 三、農業經濟學會、村落社會學會幹事等

青 木 誠 四 郎 同市小石川區久堅町七四

一、東京帝國大學農學部教員養成所 二、學習の心理學的研究、村落社會の智能的構成 三、日本心理學會、村落社會學會、教育文化研究所

小 山 榮 三 同市外澁谷町八幡通二丁目二七

一、東京帝國大學文學部 二、△人種學(總論) 三、日本社會學會、民族學會、人類學會

別 所 梅 之 助 同市外世田ヶ谷町下北澤三八

一、青山學院高等學部教師 二、△武藏野の一角に立ちて、地に跡を印した人々等十部ほど ○聖書民俗考 三、民俗學會

牧 口 常 三 郎 同市外高田町大原一六四八

一、東京市白金小學校校長(芝區) 二、△人生地理學、教授の統合中心としての郷土科研究、豐後の三洋江村及び肥後の南北小國村の調査研究 三、郷土會

蘆 田 伊 人 同市外淀橋町柏木八七一

一、生國は越前の福井、舊小濱藩の酒井伯爵家史の編纂に従事 二、我國の歴史地理並に人文地理、特に村落研究 三、歴史地理學會、史學會、考古學會

中 桐 確 太 郎 同市外東大久保一二(市電披瀝天附近)

一、早稻田大學教授 二、日本溫浴史 三、郷土會等に時々參上

小田 内通敏

同市外大久保百人町二五〇(省線大久保驛附近)

小寺 融吉

同市外中野町上ノ原七六〇

大槻 憲二

同市外杉並町阿佐ヶ谷六〇九

牧野 富太郎

東京府北豊島郡大泉村上土支田五五七

正木 助次郎

同市外池袋驛西七町

高瀬 代次郎

同市外池袋二二二八

一、府立第三中學(本所區柳原町) 二、農村の經濟生活と自然に關すること 三、東京地學協會、日本地理學會
一、伊達侯爵家々記編集係 二、江戸聖堂の研究 △家田大峰、細井平州叢書、佐藤一齊と其門人 三、斯文會、史學會、史談會等

北野 博美

府下石神井村下石神井一之六

雜誌「民族藝術」編輯

今和 次郎

府下北多摩郡保谷村上保谷五六四

星野 輝興

一、早稻田大學建築學教室 二、民家 △日本の民家、民俗と建築 三、民俗學會、民俗藝術の會

一、官吏(掌典) 二、日本の祭祀 三、神道又は土俗の學會二三に關係 四、近く日本に於ける祭祀の研究所設立計畫中

藤井 清水

同市外武藏野町吉祥寺六七〇

一、作曲家 二、作曲の研究資料として日本在來の民謡調査 △自作曲の一部分約百曲を出版 ○民謡作曲に關する著述の計畫あり 三、日本民謡協會、佛教音樂協會

柳田 國男

府下北多摩郡砧村成城學園前

小野 武夫

府下北多摩郡小金井村大字小金井上山谷(櫻で名高い小金井櫻の附近)

片岡 重助

秋田縣鷹巣農林學校(奥羽線鷹巣驛下車)

一、校長 二、農村社會發達史、農村社會調査 △學校を中心とする社會教育、其他社會教育施設に關するもの數種 ○日本の農村社會學要綱(英文) 三、村落社會學會幹事、農村教育研究會、アメリカン・カントリーライフ・アツション等 四、大正十四年より一ヶ年半文部省在外研究員(農業社會學研究昭和二年九月東京高等蠶絲學校教授(農村社會學講義))

- 秋葉 隆 京城東崇洞一ノ一
京城大學教授
正 嚴 京都市上京區鹿ヶ谷法然院町一九
兼 常一清 佐 東京外雜司ヶ谷町金山三三〇
中 山 太郎 東京市本郷區弓町二丁目二六
一、著述 二、我國の民俗學、△土俗私考 日本民俗誌、賣笑三千生史、日本婚姻史、祭禮風俗 ○日本
巫女史、日本青年制度史、日 民俗學 三、東京木堂會、民俗學會
金 田 一 京 助 同市外杉並町成宗三三二
東京帝國大學助教授 △アイヌの研究、北蝦夷古謠遺篇、アイヌ聖典、その他
鳥 居 龍 藏 同市麻布區霞町二番地
△有史以前の日本、上代の東京と其周圍、その他多し
小 出 滿 二 九州帝國大學農學部教授
二、農村、農史、村落社會學會幹事

昭和四年十二月二十八日印刷納本
昭和五年一月一日發行

非賣品

編輯者兼

大西 伍一

東京府世田谷町一〇六四

印刷者

志賀主殿

東京市神田區淡路町二ノ三

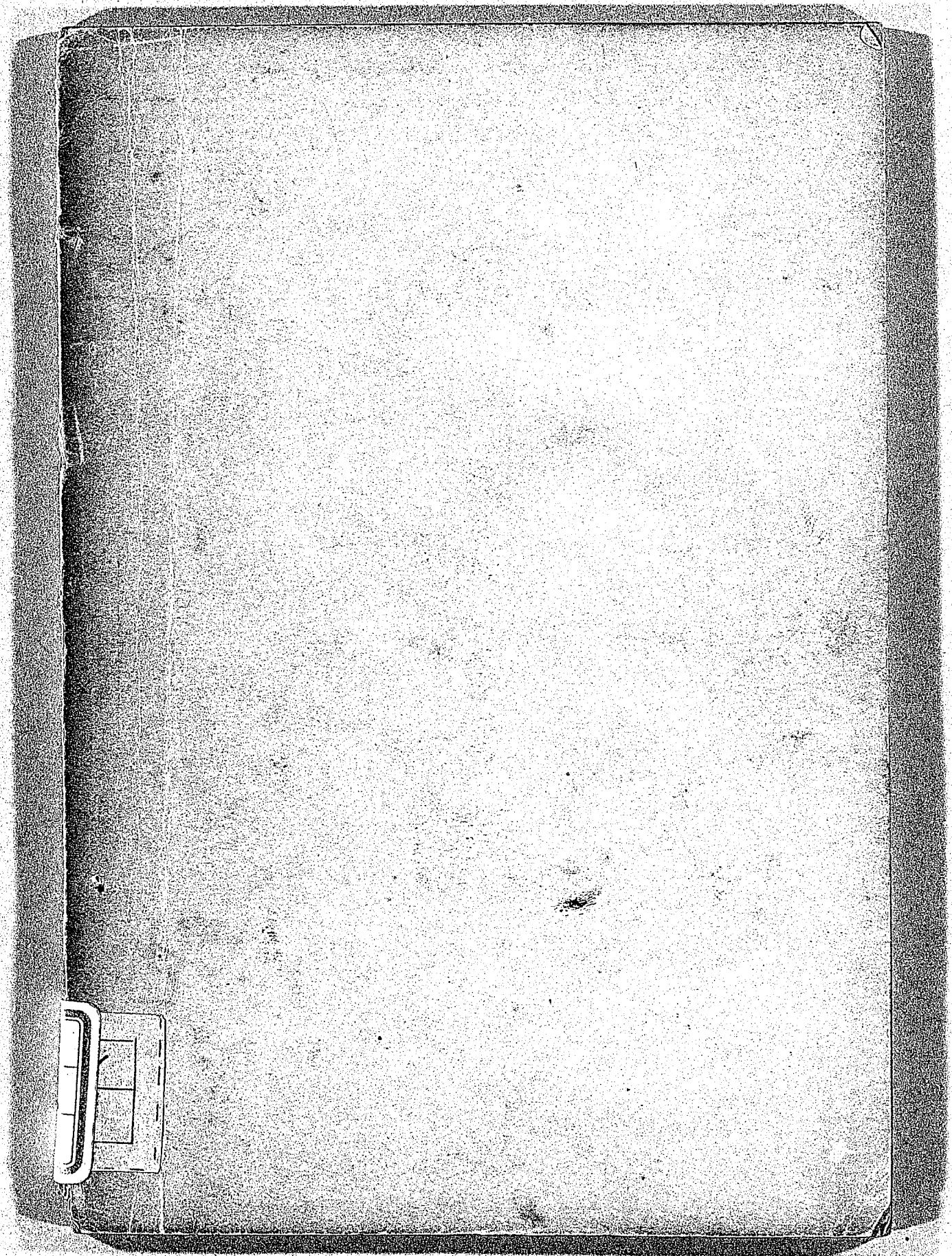
發行所

東京府世田谷町
代田一〇六四

農村教育研究會

振替東京七八七八六番





2 3 4 県立串本古座高校所蔵 中根文庫 資料番号 04088 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5